

呉市教育委員会会議録
(令和2年8月21日臨時会)

呉市教育委員会

呉市教育委員会会議録
令和2年8月21日臨時会

- 1 開催日時 令和2年8月21日(金) 10:00開会
16:43閉会
- 2 開催場所 202, 203会議室(呉市役所2階)
- 3 出席委員 教育長 寺本有伸
教育長職務代理者 森尾敬介
委員 船尾慎
委員 佐々木元
委員 小谷眞喜子 欠席委員なし
- 4 出席職員 教育部長 坂田恭一
教育部副部長 高橋伸治
教育部参事補兼教育総務課長 安倍広志
学校教育課長 安部ほづみ
学校安全課長 棚田隆志
教育総務課課長補佐 上野美帆
学校教育課課長補佐 神笠英則
学校安全課課長補佐 森島隆
学校教育課主査 久保由佳利
学校安全課主査 伊藤賀世
学校教育課指導主事 本谷彰弘
学校安全課指導主事 奥村愛
- 5 説明員 西山光人(呉高等学校校長), 須藤敏清(宮原中学校校長), 藤原敏宏(東畑中学校校長), 村井眞司(白岳中学校校長), 久保好寛(広南中学校校長), 柿林浩彦(蒲刈中学校校長), 小林浩樹(和庄中学校校長), 野崎倫子(郷原中学校校長), 工藤孝之(両城中学校校長), 松田光弘(警固屋中学校校長), 湊和昭(阿賀中学校校長), 平田洋一(仁方中学校校長), 石原幹生(音戸中学校校長)
- 5 傍聴者 41人
- 6 日程
(1) 会期決定について
(2) 前回会議の報告
(3) 教議第43号 令和3年度使用教科用図書(呉市立呉高等学校)の採択について
(4) 教議第44号 令和3年度使用教科用図書(小・中学校特別支援学級用)の採択について
(5) 教議第45号 令和3年度使用教科用図書(中学校)の採択について

(10:00)

教 育 長 それでは、委員の2分の1以上の出席をいただいておりますので、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第3項の規定により、これより臨時会を開会します。

日程第1の「会期決定について」を議題とします。

お諮りします。会期は、本日1日としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしと認めます。

よって会期は、本日1日と決定されました。

本日の会議録署名委員は、小谷委員・森尾委員にお願いいたします。

それでは、日程第2の「前回会議の報告」を求めます。

上野課長補佐 (令和2年8月18日定例会について報告)

教 育 長 本日提出された各議題の教科用図書の採択につきましては、今年度も、透明性の確保に重きを置いて公開としたいと思いますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、本日の議題についてはそのように決定されました。

教議第43号 令和3年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について

教 育 長 それでは、日程第3の教議第43号「令和3年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、選定委員長から総括説明を求めます。

西 山 校 長 それでは、教議第43号「令和3年度使用教科用図書（呉市立呉高等学校）の採択について」御説明いたします。

まず、呉高等学校の教育課程等について簡単に御説明いたします。

呉高等学校は総合学科で、進学から就職まで様々な進路希望を持った生徒が入学してまいります。この多様な進路希望に対応できる教育課程を編成しております。お配りしておりますパンフレットの呉市立呉高等学校令和2年度学校案内をお開きください。見開きの左ページの上の部分、令和3年度入学生教育課程表（予定）を御覧ください。1年次では、音楽、美術、書道の芸術選択科目以外は全員が共通の科目を履修し、2年次からは薄い緑色に印刷された選択科目が入っております。ページ中央には、系列と主な選択科目を示しております。

このように、幅広く用意された選択科目からそれぞれの進路希望に応じた科目を選択し、生徒の進路実現を図ることができるようにしている点に特徴があります。

続いて、今年度の採択の方針について、簡単に説明いたします。

資料1ページから2ページには、呉市教科用図書の採択に関する規程、3ページには、令和3年度に呉市立呉高等学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について、4ページには、呉市立呉高等学校教科用図書採択手続要領、5ページには、教科用図書採択の手順をお示しております。

6ページを御覧ください。令和3年度に使用する高等学校用教科書の種類数・点数一覧でございます。

呉高等学校の教科書選定に当たりましては、このページに掲載されている第1部の教科書から選定を行っております。

8ページを御覧ください。今年度の選定委員会等についてをまとめたものでございます。選定委員会は、校長、教頭、学校関係者評価委員3名の計5名で構成し、2にありますとおり選定委員会を3回開催いたしました。この会には呉市教育委員会事務局の職員も参加していただきました。

それでは、教議第43号の表紙をめくった最初のページを御覧ください。このページと次のページにかけてお示ししておりますのが、選定委員会が選定した教科用図書の一覧でございます。本日は、これらの教科書について、一括して採択していただきたいと存じます。

総括説明は以上でございます。

教 育 長 総括説明について、御質問がありましたらお願いいたします。

(なしの声)

教 育 長 それでは、先ほどの総括説明を受けまして、呉高等学校で令和3年度に使用する教科用図書につきましては、一括して採択することにしたいと思います。これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、呉高等学校で令和3年度に使用する教科用図書につきましては、一括して採択することに決定されました。

それでは、選定委員長の説明を求めます。

西 山 校 長 それでは、令和3年度使用教科用図書選定理由書を基に選定した教科書の特徴について御説明いたします。

資料の9ページをお開きください。始めに、国語総合を例に、まとめ方について御説明いたします。使用学年欄には、大きく3種類の書き方をしております。数字は学年を表し、「1必」などのように数字の後に「必」とあるのは、学習指導要領で必履修科目に設定されているものを表し、「2・3選」などのように数字の後に「選」とあるのは、選択科目であること、「2・3」などの数字だけのものは、学校の判断で全員が履修することとしているものをそれぞれ示しております。一番右の欄、選定理由は二段落で構成し、①の段落では、他の発行者と比較しての特徴、②の段落では、生徒実態に適しているかという視点から記述しています。全部で53種でございます。

全てを説明できませんので、具体例として三つの科目について、選定した理由を御説明いたします。

まず、数学についてです。本校では、生徒の得意・不得意の差が最も大きい教科であり、基本的な内容の習得につながるころから、大学入試に耐え得る内容、更なる発展的な学びと、個の実態に応じて活用可能である教科書が求められます。

そうした現状を踏まえ、12ページの上から3番目の数学Ⅲにつきまして、数研出版の「改訂版数学Ⅲ」を選定いたしました。数学Ⅲは大学進学を考えている理系の生徒対象の科目ですので、特に、本教科書の大学数学につながるような演習

問題が豊富に入っている点、また、研究やコラム等で取り扱われているコンピュータを利用した図形の取扱いなど、視覚的に理解を促す工夫がされている点を高く評価しました。また、授業の中で、コンピュータやタブレットで、アプリを利用して式との関連性を確認させるといった、ICT機器を活用した展開につなげられるといった特徴も備えています。こうした特徴を多く含んでいるかどうかということは、昨今の教科書選定において極めて重要な要素の一つであり、この点も評価して選定に至りました。

13ページ下から三つ目の生物基礎につきましては、第一学習社の「高等学校改訂生物基礎」を選定しております。

他者と比較して説明が冗長にならず、コンパクトで分かりやすいという点に大きな特徴があります。

理科は、実験や観察を適切に織り込みながら興味・関心を喚起して、その面白さを伝えていくことができるというところに教科の特性がありますが、本教科書は、多くの実験や観察について、その手順が図解で示されており、結果の写真も掲載されています。実際に実験、観察を行う上でも有用性は高いのですが、時間の関係でできない場合でも、その結果を視覚的にイメージすることが可能になっていきます。また、章末問題が、短答式のものから一定の思考を要するものまでバランス良く配置されていること、随所に掲載されているコラムが探究活動や発展学習につなげられるように工夫されていること、さらには、付属のデジタルコンテンツがよく作り込まれており、臨時休業中に授業動画を作成し、実際に生徒へ配信を行うといった形でも活用しました。こうした理由から、適切であると判断して選定しました。

最後に、15ページの上から三つ目のコミュニケーション英語Ⅲにつきましては、桐原書店の「WORLD TREK English Communication Ⅲ New Edition」を選定しております。

相当数の生徒が使用することもあり、他者と比較して、標準的な内容を扱っており、本校生徒に適切で学習しやすいと考えます。

本教科書は、各レッスンの題材が多岐にわたっており、生徒の知的好奇心を喚起できるよう工夫されています。記述内容も標準的で、多様な進路に対応しなければならない本校生徒にとっては、極めて適切だと判断いたしました。

また、各パートに設定されている「Your Opinion」により、ただ内容を受容するにとどまらず、自分の意見を明確に持たせることで、深い学びへとつなげることが可能になるのも特色です。

英語学習は、読む、書く、話す、聞く、の4技能をバランス良く身に付けることが求められますが、「Real Life Reading」「Real Life Listening」といった教材が多く掲載されており、4技能を身に付けるための授業展開を行いやすい点も優れている点です。

また、パワーポイントやフラッシュカードといった、教員の業務を支援してくれるツールも充実しており、授業でも頻繁に活用されています。以上のような特徴があることを高く評価し、本教科書を選定しました。

以上、三つの科目を例として御説明いたしましたが、それ以外の科目につきましても、同様の視点で調査・研究し、使用することが適切であると判断したもの

でございます。

それでは、少し時間をとりますので、教科書を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

西山校長 それでは、再度、表紙の次のページを御覧ください。

議題にありますとおり、各種目の教科書を採択することにつきまして、御審議のほど、よろしく申し上げます。

教育長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

小谷委員 呉高校の選定委員会も、一度傍聴させていただきましたが、調査・研究委員会は何回実施したのですか。

西山校長 教科により異なりますが、多いところで10回、少ないところで2回、平均すると4.5回実施しています。

佐々木委員 生物の説明で、実験の方法について、分かりやすく示されているとありました。高校生の理科の授業という、知識を覚えていくことが中心で、あまり実験や観察は行わなかったイメージがあるので少し意外です。どのようなところが分かりやすいのか、具体的に教えてください。

西山校長 確かに高校の授業では、生徒が習得しなければならない内容は膨大な量です。一昔前までは、教師が講義して生徒はひたすらにノートをとる、「チョーク&トーク」といわれる形式の授業が多かったのも事実です。しかし、大学入試改革が進む中、求められる生徒像は変わってきています。

そうした流れの中で、本校の授業においても、生徒が主体的に考える学習活動を設定しようと努力しています。

生物の教科書、40、41ページを御覧ください。これは細胞の内部が動く、細胞質流動という現象について理解するための観察です。目的を見ていただくと、この観察を何のために行うのか、具体的に記述されています。また、結果では、鮮やかなカラー写真で観察前後の細胞の様子が比較できるようになっており、生徒はどのような結果が得られれば良いのかイメージしやすくなります。これらの工夫によって、生徒は自らの手で観察を進めることができ、主体的な学びを実現できると考えます。

森尾委員 外国語の説明で、各レッスンの題材が多岐にわたり、生徒の知的好奇心を喚起するとありました。具体的にどのような題材があるのか教えてください。

西山校長 それでは、「English Communication III」の教科書で御説明します。

表紙をめくっていただき、見開きを御覧ください。各レッスンの一覧が写真とともに掲載されています。例えば、レッスン1では有名な海外の女優、レッスン4では自由貿易、レッスン6では日本人によるアフガニスタンでの支援活動等、様々なジャンルの題材が取り上げられています。宇宙ステーションを題材にしたレッスン5の授業では、物理を受講している生徒が、宇宙についての知識を紹介し、ディスカッションが盛り上がったこともあったと聞いています。

本校では総合学科を設置しているため、生徒によって履修科目が異なることが多く、生徒間で学習したことを交流している姿を見掛けます。こうした生徒が、毎時間異なる題材に触れながら英語を学習できるこの教科書を使うことによって、知的好奇心を高めることはもちろん、コミュニケーションを活性化すること

もできると考えます。

教 育 長 ほかに御発言はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、呉高等学校で令和3年度に使用する教科用図書は、原案のとおり採択することに御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、呉高等学校で令和3年度に使用する教科用図書は、原案どおり採択することに決定されました。
説明員が交代いたします。

教議第44号 令和3年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択について

教 育 長 それでは、日程第4の教議第44号「令和3年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択について」を議題とします。

採択に入る前に、事務局から総括説明を求めます。

棚 田 課 長 それでは、教議第44号「令和3年度使用教科用図書（小・中学校特別支援学級用）の採択について」御説明いたします。

特別な教育課程を編成している特別支援学級では、児童生徒の実態に合わせ、適切な教科用図書を、毎年度採択することとなっております。

採択基準につきましては、資料1に載せております。2ページの2の方法、組織及び手続の(3)のAにありますように、「文部科学大臣の検定を経た教科用図書」「文部科学省著作教科用図書」及び「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」の3種類の中から採択できるようになっています。

まず、この3種類の教科用図書について御説明いたします。

一つ目は、「文部科学大臣の検定を経た教科用図書」でございます。これは「検定済教科用図書」ともいいます。特別支援学級では、教科用図書として、まず当該学年の「検定済教科用図書」が適当かどうかを児童生徒の実態から審議し、適当でない場合には、下学年の「検定済教科用図書」について審議いたします。

二つ目は、「文部科学省著作教科用図書」でございます。資料2を御覧ください。これは、知的障害の特別支援学校用の教科用図書で、「著作教科用図書」ともいいます。この「著作教科用図書」は、国語、算数・数学、音楽についてのみ発行されており、発行元は、国語、音楽が東京書籍、算数・数学は教育出版のみです。

これらの教科用図書には、星印が付いており、「ほし本」とも呼ばれています。

資料2の1ページから49ページに、特別支援学校学習指導要領に記載されている国語科、算数科・数学科、音楽科の各目標と内容について、五つの段階について示しており、星の数は、その五つの段階に合わせた数を表しています。

各学校とも実際の「著作教科用図書」を参考にし、児童生徒の実態に合ったものを選定しております。

先ほどの「検定済教科用図書」が適当でない場合に、この「著作教科用図書」

を検討することとなります。

黄色の付箋を付けた「著作教科用図書」を2冊用意しております。しばらく御覧ください。

(しばらく時間をとる)

栩田課長 三つ目は、「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書」でございます。これを「一般図書」と呼んでおります。

資料3を御覧ください。

元々は、教科書として作成されたものではない図書がほとんどですが、児童生徒の実態によっては、教科書の役割を果たすものと認められた教科用図書でございます。3ページから9ページに、令和3年度に使用できる「一般図書」の一覧を載せております。

児童生徒の実態から、「検定済教科用図書」及び「著作教科用図書」が適当でない場合に、この「一般図書」を選定することとなります。

黄緑色の付箋を付けた「一般図書」を2冊用意しております。しばらく御覧ください。

(しばらく時間をとる)

栩田課長 以上3種の教科用図書のうち、いずれか1種を教科ごとに使用することが可能となっております。

選定に当たりましては、資料1の3ページに載せております手順に従い、学校ごとに選定理由を慎重に審議し、5ページから8ページに載せております様式により提出させております。

本日は、「各小・中学校が選定した教科用図書」について一括して採択していただきたいと存じます。

よろしく願いいたします。

教育長 それでは、ただ今の総括説明を受けまして、呉市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一括して採択することにしたいと思いません。

これに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、呉市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書につきましては、一括して採択することに決定されました。

それでは、事務局の説明を求めます。

栩田課長 各小・中学校が選定した教科用図書につきましては、最初のページにありますように、1に「文部科学省著作教科用図書」を示し、次のページの2に「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（一般図書）」について一覧表にしております。一覧表は、「学校教育法附則第9条第1項の規定による教科用図書（一般図書）」について、小学校、中学校の順となっております。左から、教科名・種目名、発行者の略称、図書名の順に、まとめております。

それでは、選定の詳細について、資料4に載せております「小学校知的障害特別支援学級第5学年」の児童を例に御説明いたします。

1ページを御覧ください。

まず、図画工作及び音楽は「検定済教科用図書」を選定しております。

次に、国語及び算数は「著作教科用図書」の「こくご星二つ」「さんすう星二つ」を選定しております。

さらに、体育（保健）、生活、特別の教科道徳として、「一般図書」から選定しております。

いずれも資料3にございます、「令和3年度用一般図書一覧」の中から選定しております。

それぞれ選定理由を表の右側に示し、報告を受けています。

以上のように、児童生徒が使用する教科用図書につきましては、「検定済教科用図書」「著作教科用図書」「一般図書」の中から、児童生徒の実態に応じて、適切に選定しております。

御審議のほど、よろしくお願ひいたします。

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願ひいたします。

佐々木委員 一般図書一覧に収録される図書は、毎年度変わっていて、削除されたり、追加されたりしている図書があると思いますが、その辺りのところを少し詳しく教えてください。

棚田課長 令和2年度用一般図書一覧にある図書が、令和3年度には発行予定がないなどの理由から、令和3年度用一般図書一覧から削除される場合があります。また、令和2年度用一般図書一覧にはないものの採択数が比較的多く、発行者が令和3年度においても発行、供給を予定している図書が追加される場合もあります。

ちなみに、令和3年度用一般図書一覧には、令和2年度用図書一覧から9冊削除されていますが、新たに10冊の一般図書が加わっています。

小谷委員 文部科学省著作教科用図書について、令和2年度まで4段階だったのが、令和3年度から5段階になった理由を教えてください。

棚田課長 この度改訂された学習指導要領では、各教科の目標、内容について具体的なものに見直されており、令和2年度は小学校のみ全面実施ということで、小学部3段階、中学部1段階で、合わせて4段階となっていました。

令和3年度は、中学部についても、新学習指導要領が完全実施となり、さらに具体的な目標及び内容が示されて2段階となったため、小学部と合わせて5段階になっています。

この中学部の変更に合わせて著作教科用図書についても、これまでの星四つの教科用図書に加えて、星五つの教科用図書が加わっています。

船尾委員 呉市立の小・中学校の特別支援学級は年々人数が増えていく中で、その児童生徒の一人一人の実態に合わせて、教科用図書の選定を進めていただいたと思います。

特別支援学級に在籍する子どもたち一人一人の障害の状態や発達段階、特性に合わせた、個に応じた指導は大切なことだと思います。今回採択される教科用図書を使って今後の教育活動を充実していただくよう、よろしくお願ひします。

教 育 長 ほかに御発言はありますか。

(なしの声)

教 育 長 御発言なしということで、令和3年度に呉市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書は、原案のとおり採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、令和3年度に呉市立小・中学校の特別支援学級で使用する教科用図書は、原案どおり採択することに決定されました。

これより休憩に入ります。

午前11時5分から再開します。

(10:53)

教議第45号 令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択について

(11:05)

教 育 長 それでは、日程第5の教議第45号「令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択について」を議題とします。

事務局からの総括説明を求めます。

安 部 課 長 それでは、教議第45号「令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択について」御説明いたします。

資料の1ページの教科用図書採択スケジュールを御覧ください。

小・中学校の教科用図書の採択は、通常4年ごとに実施しております。中学校につきましては、平成30年度に道徳が教科化となりましたので、特別の教科道徳のみの採択を実施いたしました。そして、昨年度、令和元年度に特別の教科道徳を除いた教科用図書について、4年に一度の採択を実施しております。

今年度は、学習指導要領の改訂に伴い特別の教科道徳を含め、全ての教科用図書の採択事務を行うこととなります。採択の手続につきましては、先ほど、呉高等学校の資料にございました呉市教科用図書の採択に関する規程、資料2ページの令和3年度使用教科用図書（中学校）の採択手続について、そして、資料3、4ページの令和3年度に呉市立小・中学校で使用する教科用図書の採択に係る基本方針について及び資料5、6ページの令和3年度使用教科用図書（中学校）採択のための調査・研究要項を基に、調査・研究委員会を3回、選定委員会を2回実施いたしました。

調査・研究委員会、選定委員会では、教科書目録に登載されている見本本について、調査・研究、選定を行いました。その際、本日別冊でお配りしている広島県教育委員会の選定資料も参考にしておりますことを申し添えます。

そして、別冊資料の令和3年度使用教科用図書（中学校）総合所見が、8月19日に選定委員長から教育長に報告されたものでございます。

本日は、各種目の選定委員会委員が、総合所見の内容について説明させていただきます。

御審議のほど、よろしくお願いいたします。

教 育 長 総括説明について、御質問がありましたらお願いいたします。

(なしの声)

教 育 長 ただ今の総括説明を受けまして、令和3年度使用教科用図書（中学校）については、種目ごとに採択することにしたいと思っておりますが、これに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、令和3年度使用教科用図書（中学校）については、種目ごとに採択することと決定されました。

それでは、国語から順に、選定委員の説明をお願いします。

須 藤 校 長 それでは、国語の総合所見一覧について報告を行います。資料の1ページです。国語は、東書、三省堂、教出、光村の4者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

各者とも、教材の終わりに目標や学習課題等を示して学習の流れを見通せるように工夫されています。中でも、東書、三省堂及び光村は、学習のポイント等をまとめたコラムを設けています。とりわけ三省堂は、教材中に用いられている語句を基に、語彙力を高めるためのコラムも設けています。これは、実際の社会や生活で活用する言葉の力を育むことにつながる工夫であるといえます。

また、「知識及び技能」の観点に新設された「情報の扱い方に関する事項」について、三省堂と光村は単元を設けていますが、他の2者は単元ではなく、複数の単元の中に情報に関する教材を配置しています。三省堂の情報に関する単元では、学習の進め方を提示したり、グラフ等の資料を多く用いて、書く活動につなげたりしており、「情報の扱い方に関する事項」の定着に有効であると考えます。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

古典教材は各者ともバランス良く示されており、教材の終わりに学習を深めるためのコラムが設けられています。そのコラムを比較してみますと、東書と三省堂は、文法的な内容だけではなく、古典への興味・関心を深め、読みを深める内容のものがああります。これは、学習指導要領の「伝統的な言語文化に関する事項」で示されている、中学校での古典の学習を通して古典の世界に親しむことができる工夫があると考えます。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

話合いのテーマや議題として、学校や生活等の身近なものから、地域や社会に関するものまでを豊富に示しているのは、東書と三省堂です。

中でも三省堂は、話合いをつないだり深めたりするための「思考の方法」や表現例を示しており、実際に生徒が目的に応じて活用できるようにするための工夫が見られます。

以上述べましたように、三省堂に良い特徴が多いと考えます。

以上で、国語の説明を終わります。

教 育 長 ただ今、選定委員から説明がありました。少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 総合所見の観点2のところ、東書と三省堂には、「全学年で、日常生活や社会生活に関連付けた題材やテーマを発達段階に応じて取り上げている。」とあり、2者に関して「日常生活や社会生活に」というキーワードがあるのですが、こういった題材やテーマを取り上げているのか、もし分かれば説明していただければ

ますか。

須藤校長 東書、三省堂ともに、第1学年においては、生徒の日常生活に密接に関係のある「食文化」をテーマに取り上げております。第2学年においては、東書は「地域の魅力を発信する」として、タウン誌の記事を書く学習、三省堂については、みんながお互いに尊重し合える「共生社会の実現」をテーマに自分の考えを新聞や雑誌に投稿するという、書く学習を取り上げております。第3学年になりますと、東京書籍は「環境問題」を取り上げております。三省堂は生徒一人一人が自分で日常生活や社会生活、学校生活の中からテーマを見付け出して書こうというようになっております。

この部分については、「書くこと」について調査・研究を行った結果でございます。

船尾委員 生徒も、日常生活や社会生活に関連付けられた題材やテーマがあれば、国語の教科に対しても、興味・関心が湧きやすいのではないかと思いますので、今説明された東書や三省堂も良いのではないかと感じました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

森尾委員 観点1「基礎・基本の定着」について伺います。先ほどの説明で、「語彙力を高めるコラムを設けている」とありました。語彙力とはどんなものか、説明していただければと思います。

須藤校長 東書109ページ、三省堂は102ページをお開きください。どちらもプレゼンテーションの構成についての学習です。三省堂100ページの下に「語彙を豊かに」というコラムがあります。先ほど御覧いただいたプレゼンテーションの構成のそれぞれの場面でどのように発言すれば良いか、その発言例、表現例が具体的にいくつか示してあります。生徒はここに示された発言例、表現例を参考にして、こういうような表現の仕方をしてほしいんだな、こういう発言の仕方もあるんだなということを、プレゼンテーションの学習で実際に試しながら活用することができません。このような「語彙を豊かに」というコラムが三省堂は全学年随所に設けてあり、それぞれの学習に関連する語彙力の広がりというものを目指した工夫がなされています。

森尾委員 実際に見て、よく分かりました。語彙力の低下も課題と言われている昨今ですが、このように、ほかの授業や実際の生活の中で活用できるということは、とても良いことだと思います。よく分かりますね。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

小谷委員 観点3「内容の構成・配列・分量」の説明にあったのですが、中学生の古典の教材はどのようなものがあるのでしょうか。

須藤校長 中学校の国語の教科書で扱われている古典教材についてですが、日本の古典については、竹取物語、枕草子、徒然草、平家物語、奥の細道、和歌といったものが扱われています。中国の古典については、故事成語、論語、杜甫や李白といった有名な詩人の漢詩等が扱われています。各者ともに、名作といわれる古典の魅力を十分に味わえる作品をバランスよく取り入れています。

小谷委員 どの者においても、日本の古典も中国の古典もバランスよく示されているんですね。先ほど、三省堂は、古典の読みを深めるための内容のコラムがあると言われましたが、どんな内容か紹介してください。

須藤校長 コラムについて一番分かりやすい例として、三省堂の第3学年の118ページを御覧ください。ここには、「コミュニケーションツールとしての歌」というコラムがあり、始めにこのように書いてあります。「昔から、歌のやり取りは、人と人の心をつなぐ大切なコミュニケーションでした。それは、形を変えながら、現在にも受け継がれている言語文化です。」そして、平安時代の和歌や鎌倉時代の兼好法師の和歌を紹介して、最後に119ページの下の段にこう書いてあります。「現在では、日常的なコミュニケーションツールの一つに、メールがあります。日常の出来事を伝え合ったり、恋の駆け引きをしたりと、メールは、現代人にとって、なくてはならない重要なコミュニケーションツールとなっています。」というように、和歌とメールを重ね合わせることによって、生徒に古典、和歌に対する親しみを持たせて学習を深めるという工夫がなされていると思います。

小谷委員 よく分かりました。古典の世界も親しみやすい学びができると良いと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、国語については、三省堂の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、国語については三省堂の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、書写について選定委員からの説明をお願いします。

須藤校長 それでは、書写の総合所見一覧について報告を行います。資料は2ページです。書写は、東書、三省堂、教出、光村の4者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

正しい姿勢について、各者とも写真を用いて、ポイントの説明をしています。中でも、東書、教出、光村は、写真とともに姿勢についての確認項目と、それができているかどうかのチェック欄があり、各自が正しい姿勢になっているかどうかの確認ができます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

東書、教出、光村は、小单元ごとに、評価の観点に沿って、振り返りをするように示してあります。中でも、東書は、書写の用語等を使って学んだことを説明する活動を示しており、自らの学習をしっかりと振り返ることができ、主体的に学習に取り組むことにつながると考えます。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

毛筆の学習において、点画の種類に応じた穂先の向きや筆圧、線の太さを理解して習得することは、重要なことです。この点において各者とも、筆使いの特徴を視覚的に分かりやすく説明するための工夫が十分になされています。

筆使いについては、各者、デジタルコンテンツを示しています。実際に執筆する動画が見られるのは、東書、教出、光村の3者ですが、執筆する動画をポイントが分かるように編集するとともに、音声によるポイント説明もあるのは、東書

のみで、実際の執筆の参考にしやすいと考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、書写の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の選定委員からの報告について、御質問、御意見がありましたらお願いします。

森 尾 委 員 ただ今説明いただいた観点2「主体的に学習に取り組む工夫」について伺います。先ほどの説明では、東書で振り返りについて説明をしていただきましたが、総合所見の三省堂の中にも、「自分の言葉でまとめる」とあります。どんな違いがあるのか、説明していただきたいと思います。

須 藤 校 長 実際に教科書を御覧いただきたいと思います。三省堂は47ページ、東書は36ページを御覧ください。まず、三省堂の47ページ左下に振り返りの欄があります。そこには、「自分が学んだことを書き残そう。」と、書くことで振り返りの設定がなされています。その単元で、自分が理解し、学んだことを文章で表記することで振り返ろうというのが、三省堂の工夫でございます。また、東書は、左下に「振り返って話そう。」とあります。東書は、話すという活動で振り返りを設定しています。「点画の変化について理解したことを、自分で書いた文字を使って説明しよう。」となっています。その単元で学んだこと、点画の変化について理解したことを、実際自分が書いた字や自分の作品を示しながら、例えば、隣の生徒に説明するということです。ですから、自分が学んだこと、理解したことを隣の人に説明することによって、理解がより確かなものになりますし、お互いの対話を通して評価が深まるということが期待できると思います。

森 尾 委 員 よく分かりました。自己評価をチェックするだけでなく、短時間でも他者に説明することで学びの質が深くなるということによろしいでしょうか。

須 藤 校 長 そのとおりでございます。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

佐々木委員 老婆心ながら、少し気になるところがあります。観点4「内容の表現・表記」の説明に出てきたデジタルコンテンツは、机の上に書道の道具もありながら、狭いところでうまく活用できるのかどうか、いかがでしょうか。

須 藤 校 長 このデジタルコンテンツについては、各者ともこれから力を入れていくところだと思います。学習を進めていく上で有効なものであって、邪魔にはならないと考えています。具体的に申しますと、まず、学習の導入の部分で、教室の前にプロジェクターやディスプレイ等を置きまして、そこにデジタルコンテンツを映し出して、全体指導をすることができます。また、授業中は机間指導をしていく中で、多くの生徒に共通した課題が見付かることがよくあります。今までは一人一人に教えていく必要があったのですが、デジタルコンテンツを使えば、またその部分を前のディスプレイに映し出して、全体指導を繰り返し行うことができます。さらに、生徒一人一人にタブレットを持たせることができれば、生徒はタブレットを机の中に入れておいて、自分が書いていく中で、ここが難しいとか、ここが苦手だなと思うところをタブレットでデジタルコンテンツを見て、「こういうふうには書けばいいんだ」と個人個人がその都度、自分で見ながら確認して練

習することができます。

したがって、今まで一斉指導でカバーできなかったことを補足でき、また生徒一人一人が自分の力で学習を進めることができると考えています。

佐々木委員 よく分かりました。教室の中で、共通の課題だけでなく、一人一人の課題に沿った支援をすることに有効な手段だということですね。それに加えて、音声によるポイント説明もあり、いろいろ充実しているところが東書にはあるように思いました。活用しやすさも当然あることと思います。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、書写については、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、書写については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、社会（地理的分野）について選定委員からの説明をお願いします。

藤原校長 それでは、社会（地理的分野）の総合所見一覧について報告を行います。資料は3ページを御覧ください。社会（地理的分野）は、東書、教出、帝国、日文の4者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

1時間ごとの学習課題については、どの者も学習課題が示されており、それに対応するまとめができるようになっています。

また、知識・技能を習得するための工夫は、各者とも様々なコーナーを設けるなど充実していますが、思考力・判断力・表現力を身に付けさせる活動として、東書には「まとめの活動」が、帝国には「地理的な見方・考え方を働かせて説明しよう」が位置付けられています。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

単元を貫く課題の設定として、東書は各節に「探究課題」を、教出は「学習の視点」を、帝国は「各節の問い」を、日文は「追究するテーマ」を節の最初の部分に記載しています。その課題設定を受け、東書は節の最後に学習した内容を使って探究課題に対する考えをまとめて表現できる活動を仕組んでおり、帝国には節の学習を振り返る活動が設定されています。

地域調査については、各者とも具体的事例を挙げながら写真や資料を使って生徒が取り組みやすいように工夫を加えています。その中でも、東書と日文は、準備・調査方法・まとめ・発表について、見通しを持って学習を進めることができます。また、地域調査に防災の視点があったのは、東書・教出・日文の3者でした。

三つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

各者とも、防災教育については、日本各地の地域的特色を踏まえ、防災・減災にも触れるなどしており、最近の情勢を踏まえて記述が充実してきています。

また、各者とも、大単元の構成は適切であり、ページ数もバランスが取れてい

ます。東書・教出・日文では、統計資料や用語解説があるなど、資料も充実しています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、社会（地理的分野）の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
（しばらく時間をとる）

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

小 谷 委 員 社会科の目標に「社会的な見方・考え方を働かせ」とありますが、地理的分野において、「社会的な見方・考え方を働かせる」とはどのようなことなのか具体的に教えていただけませんか。

藤 原 校 長 例えば、学習指導要領には、次のような記述があります。地理的分野の見方・考え方とは「社会的事象を、位置や空間的な広がりに着目して捉え、地域の環境条件や地域間の結び付きなどの地域という枠組みの中で、人間の営みと関連付けること」とございます。

例えば、「日本は地下資源に恵まれていない、世界有数の工業国として発展したのはなぜか。」という問いに対して、子どもたちは、次のような資料で調べていくことができると思います。タンカー等の大型船やコンビナートの立地、伝統的に技術力が高いことが分かる資料を総合的に考えると、「日本が大量の資源を外国から輸入し、沿岸部に大規模なコンビナートを建てた。そこで、輸入した資源を加工し、外国に輸出することで産業が発展した。」となります。「工場がどこにできるか。どのように資源を加工し、どのように輸出入は行われているのか。」という工業立地論と加工貿易といった「地理的な見方・考え方」を、子どもたちは学習過程の中で働かせることとなります。

中国・四国地方を例にもう少し詳しく説明します。

東書の197ページをお開きください。「この中国・四国地方の学習で、子どもたちはどのような地理的な見方・考え方を身に付け、応用させて働かせていくことができるのか。」についてですが、197ページには瀬戸大橋とリモートによる遠隔授業の様子の写真があります。そして、キャラクターの吹き出しや説明があります。199ページの右下を御覧ください。右下には、探究課題の設定があります。この「なぜ交通・通信網が重要な役割を果たしているのでしょうか。」という課題について調べて学習したことを、206ページと207ページの振返りの学習でまとめていきます。つまり、「地域に交通・通信網がどのような影響を与えるのか。」といった見方・考え方を身に付け、他地域の学習でも活用できるようにしていきます。

先ほど説明させていただきましたが、東書と帝国が「見方・考え方」については、一貫性のある学習が仕組まれています。

小 谷 委 員 見方・考え方については、一貫した学習が大切であることが分かりました。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

船 尾 委 員 ユニバーサルデザインとは、どのようなものでしょうか。ほかの教科の観点にも出てきますが、それがあることによってどのようなメリットがあるのですか。

藤 原 校 長 例えば、市役所においても、どの方でも安心して使いやすいトイレが設置して

あります。すなわち、ユニバーサルデザインというのは、誰もが使いやすいというのが根本になります。

特別支援教育の視点から、ユニバーサルデザインの取組は、全ての生徒が、使いやすい、読みやすい紙面にするための配慮であると考えます。

英数字が判別しやすいユニバーサルデザインフォントを使用するか、グラフや地図等では、色覚特性がある生徒にも見分けやすい色を使用するといった配慮が各者なされています。ほかの教科でも出てくる視点ですが、今言ったようなユニバーサルデザインに関する配慮をすることで、誰もが使いやすく読みやすい教科書になるということです。

船尾委員 よく分かりました。今の説明を念頭に置き、他教科の説明も聞いていこうと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

森尾委員 地理的分野においても、デジタルコンテンツがあると思いますが、どのようなものか教えていただけませんか。

藤原校長 各者とも特色あるデジタルコンテンツが表示されるようになっています。

今後、生徒に一人一台端末が配られると聞いているので、デジタルコンテンツを活用して、生徒の主体的な学びにつなげたいと考えます。

東書の5ページの左下のQRコードを読み取ると、関連するホームページに移ります。教出、日文も同様に巻頭にQRコードがあります。帝国は、巻頭ではなく、本文中に関連するQRコードがあります。東書はクイズや図解資料、教出は関係機関のホームページへのリンク、帝国は問題の表示や「NHK for School」へのリンク、日文はクイズ、関係機関のホームページのリンク先、写真資料等が提示されておりました。

森尾委員 分かりました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りいたします。

ここまでの協議を踏まえると、社会（地理的分野）につきましては、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、社会（地理的分野）については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、社会（歴史的分野）について選定委員からの説明をお願いします。

村井校長 それでは、社会（歴史的分野）の総合所見一覧について報告を行います。資料は4ページを御覧ください。歴史的分野は、東書、教出、帝国、山川、日文、育鵬社、学び舎の7者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明します。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

東書、教出、帝国、山川、日文、育鵬社は、1時間の学習課題を設定しています。中でも、東書は「チェック」と「トライ」教出は「確認」と「表現」帝国は「確認しよう」と「説明しよう」というタイトルで学習課題に対応した2段階の学習活動を示しています。これらが示されることで、生徒は、学習課題を達成す

るための手順を踏むことができ、基礎・基本の定着につながると考えます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

各者とも、各単元の導入において、興味・関心を持たせるための工夫をしております、その工夫の充実が見られるのが、東書と育鵬社です。東書は、キャラクターの問い掛けから章及び各節の学習課題を導くよう構成しています。育鵬社は、学習範囲を示す年表や歴史的事象を時系列に並べて、キャラクターの言葉を掲載しています。このような工夫をすることで、東書、育鵬社は、生徒が単元全体を見通した主体的な学習を展開しやすいと考えます。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

各者とも、「時代の特色」について、自分の考えをまとめる学習を取り入れています。中でも、東書は、「基礎・基本のまとめ」と「まとめの活動」を段階的に位置付けることで、帝国、日文は、まとめの前に二つの学習活動を段階的に位置付けて、問いや着目させる視点を示し、自分の考えをまとめる学習へつなげています。さらに、東書は、章の導入で設定した探究課題とまとめが連動しているため、生徒が思考を整理し表現しやすくなるよう工夫されていると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、歴史的分野の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 事前に教科書を閲覧した際の気付きなのですが、例えば、アメリカ合衆国の大統領の名前が「ルーズベルト」と「ローズベルト」のように、外国人の名前のカタカナ表記が、教科書会社によって違うものがありました。生徒はここで学んだ表記を以降は使うことになると思います。受験等の記述で、問題はないのですか。

村 井 校 長 結論から申し上げますと、外国人の名前のカタカナ表記には、ある程度許容があるので、受験等で、どの者の記載を記述しても問題はないと考えます。年月の経過に伴い歴史研究は進み、新たな発見や気付きなどが生まれることで、教科書の記載も更新されていくことになります。特に、人名等は、現地の発音に近い表記にしていこうという流れもあります。したがって、現行の教科書では、「ルーズベルト」でも「ローズベルト」でも正解ということになりますので、指導者は常に最新の情報を基に指導していくことが必要です。

船 尾 委 員 よく分かりました。安心しました。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

森 尾 委 員 総合所見を見ながら先ほどの説明を聞いて、各者の特徴がよく分かりましたが、そのほか、観点4の「内容の表現・表記」といったところで、特徴的なところがあれば教えてください

村 井 校 長 観点4には二つの視点があります。

掲載されている写真や絵図等がどのように活用されているかについては、資料の種類で申しますと、各者とも写真、絵図、地図、図表・グラフ、文章資料、年表、人物があり、それぞれの掲載数にいくらかの違いはあるものの、各者とも効

果的に資料を掲載していると考えています。

「掲載の仕方」については、学習内容と資料が全て番号で結び付けられており、統一感があって生徒にとって分かりやすいのは、東書、教出、日文、育鵬社であると考えています。

森尾委員 分かりました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

佐々木委員 観点2「主体的に学習に取り組む工夫」について、東書、育鵬社は「生徒が単元全体を見通した主体的な学習を展開しやすい。」といった内容の説明がありました。もう少し詳しく教えていただけますか。

村井校長 それでは、東書は98、99ページ、育鵬社は103ページをお開きください。東書の99ページの下キャラクターの吹き出しには、導入の活動の気付きや疑問が、生徒の立場で書かれており、そこから「探究課題」を導くような構成になっています。生徒の目線で書くことにより、生徒自身が目標を立てる過程も、段階的に考えることができると考えます。

育鵬社は、103ページの下にあるようにキャラクターの吹き出しで問い掛ける工夫があります。次の104ページ、105ページを開いていただくと、先ほど説明した歴史的事象を時系列に並べた「歴史絵巻」があり、単元全体を見渡せる工夫があります。

これらの工夫がある東書、育鵬社は、生徒の主体的な学習を展開しやすく、中でも東書は、単元全体の課題を見だし、その課題を追究したり解決したりする活動を展開しやすいと考えます。

佐々木委員 資料を見ながら説明を聞くことで、よく分かりました。生徒が主体的に学習に取り組む工夫は、生徒の立場、目線から成り立っているように思います。東書の方が優れている印象を持ちました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

船尾委員 主体的な学習は大切で、始めの説明と質疑応答を聞いていると、東書の方が優れていると感じました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りいたします。

ここまでの協議を踏まえると、社会（歴史的分野）につきましては、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、社会（歴史的分野）については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、社会（公民的分野）について選定委員からの説明をお願いします。

村井校長 それでは、社会科（公民的分野）の総合所見一覧について報告を行います。資料は5ページを御覧ください。

公民的分野は、東書、教出、帝国、日文、自由社、育鵬社の6者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

各者とも、「対立と合意」と「効率と公正」の理解を促すためのページがあり、資料での説明もあります。中でも、東書は、「2年前の学校でのトラブルについて考えよう。」「1年前の学校でのトラブルについて考えよう。」「現在の学校でのトラブルについて考えよう。」と、課題を時系列で三つ示しています。これらを見て、生徒は、「対立と合意」と「効率と公正」についての理解を深め、これらの視点に着目した思考を働かせることができると考えます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

東書、教出、帝国、日文、育鵬社の5者は、大単元の導入において、導入の活動を設け、生徒に学習の見通しを持たせるための工夫をしています。中でも、東書は、導入の活動を通して単元全体を貫く「探究課題」を立て、学習内容への興味・関心を高めながら円滑に学習に入ることができるようにしており、工夫が充実していると考えます。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

各者とも、各単元のまとめにおいて、段階的に既習事項や考えを整理することができるようにしています。中でも、東書、教出、日文、育鵬社は、思考ツールを活用して思考を深め、表現することができるようにしており、言語活動の充実にもつながると考えます。さらに、東書は、観点2でも説明した「探究課題」と連動したまとめを設定し、「まとめの活動」の中で、「探究課題」を解決することができるようにしています。このことは、生徒の思考力・判断力・表現力を高め、目的に応じて適切に表現する力を伸ばすことにつながると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、公民的分野の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

 (しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

小 谷 委 員 以前、選定委員会に参観させていただいた中で、公民の学習は、「公民としての資質・能力」の基礎を育成することが重要という話がありました。「公民としての資質・能力」というのは、学習指導要領には、どのように示されているのですか。

村 井 校 長 例えば、「社会的義務や責任を果たそうとすること」「社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりすること」などの態度や能力であると示されています。

小 谷 委 員 分かりました。今の説明にあった「社会生活の様々な場面で多面的に考えたり、公正に判断したりすること」は大切だと思うのですが、これに関して調査した結果は、どうだったのでしょうか。

村 井 校 長 先ほど説明した、観点1になります。

 社会生活の様々な局面で多面的に考えたり、公正に判断したりするためには、いろいろな視点に着目し、様々な立場になって考えることが大切になってきます。そのための基礎となる「対立と合意」「効率と公正」への理解と、それらの視点に着目して考える学習の扱い方がどうであるかという部分に当たります。

 「対立と合意」「効率と公正」に着目した考えを促し、基礎・基本の定着につな

げやすいのではないかとということで、東書の課題の示し方が効果的であると考えます。

小谷委員 分かりました。それで、東書が良いと考えられているのですね。

船尾委員 観点1の方法の中にある、「国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方」ですが、総合所見には出ていないのですが、教科書によって違いがあるのか、調査・研究委員会で調査・研究していれば教えてください。

村井校長 調査・研究報告書を見ると、「国旗・国歌に関する記載の仕方、領土をめぐる問題等に関する記載の仕方」については、各者とも、説明とともに写真や地図などの資料を掲載し、生徒の理解を深める工夫があります。

どの者も、日本が抱える領土をめぐる問題やその背景を取り上げ、解決すべき課題であることを意識できるかと思います。

船尾委員 どの者も同じように取り上げられているということで理解しました。

森尾委員 選挙権の年齢も18歳以上に引き下げられていますが、その中で、主権者教育の充実が求められていると思います。各者、どのように扱っているのか教えてください。

村井校長 主権者教育ですが、観点3の視点7に当たります。

各者とも、主権者教育の充実を図るため体験的な学習等を設定しています。例えば、章の導入で「平和な社会を築くために、私たちはどのように政治に関わるべきでしょうか。」などの課題を設定していたり、「自分たちのまちの首長を選ぼう。」「若い世代の投票率が低いのはなぜなのか話し合ってみましょう。」といった体験や話し合いを通じた学習が設定されていたりしています。どの者においても、主権者教育につながる記載があります。

森尾委員 分かりました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りいたします。

ここまでの協議を踏まえると、社会（公民的分野）につきましては、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、社会（公民的分野）については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、地図について選定委員からの説明をお願いします。

藤原校長 それでは、地図の総合所見一覧について報告を行います。資料は6ページになります。

地図は、東書、帝国の2者から発行されております。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明させていただきます。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

2者とも、それぞれ工夫が見られております。東書は、「『SDGs』を知ろう。」を設け、地図活用の視点として17のゴールを示しております。帝国は、「防災」「環境」「日本との結びつき」の視点を示したり、地図から分かること、説明できることなどの問いを示したりしております。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

東書は、防災教育について、四つの具体例を示し、平成30年の西日本豪雨で起こった坂町の土砂崩れの写真等を掲載しております。帝国は、防災教育について、12の具体例を示し、広島市周辺のイラスト地形図に水害の碑がある場所と過去に土砂災害があった場所等を掲載しています。また、防災に関する資料図には「防災」マークを付けています。呉市が重視する防災教育の充実において、帝国の記載の方が適していると考えます。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

東書は、資料等の活用方法の示し方として関連する資料の参照ページを示す「ジャンプ」を設けております。帝国は、地図活用の技能を身に付けるための問いとなる「地図活用」のマークを記載したり、資料図のページで扱ったテーマに対して図を見る際に着目する視点を示すため、「学習課題」を設定したりしています。帝国の方が、生徒が技能を身に付けたり、地理的な視点を使って考えたりする際に有効だと考えます。

以上述べましたように、帝国に良い特徴が多いと考えます。

以上で、地図の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 先ほどの説明の最後に、帝国に良い特徴が多いと言われたのですが、地図は、地理的分野の学習のときに使うことが多いのではないかと思います。地理と同じ教科書会社の方が教えやすいということはないのかということと、地図帳は、歴史的分野や公民的分野の学習にも活用しているのかということをお教えください。

藤 原 校 長 同じ教科書会社の方が教えやすいかについてですが、現在の中学校社会科におきまして、地理と地図は、別の者のものを使っております。社会部会などにおいて、社会科教員から、発行者が違うことで、教えるときに困っているという報告は受けておりません。また、私見になりますけれど、私が教諭時代、同じ者のものを使っていたことも、違う者のものを使っていたときもございますけれど、どちらの場合におきましても、教える際に、特に不便だった、難しかったという体験はございませんでした。

地図帳を歴史的分野や公民的分野の学習に活用しているかについてですが、2者とも歴史の舞台となった地名などが一目で分かるようになっております。例えば、東書の39、40ページには、日本と世界との関係、古代から近世の特集ページが組み立てられております。地図や写真資料を使って、分かりやすく説明しているのが、東書の特徴となっております。

一方、帝国ですが、31、32ページを御覧ください。ここには、東アジアと日本の交流の歴史が示されていますが、日本からの視点ではなく、大陸から日本を見るような視点で地図が描かれており、どのような交流があったのかということ、また別の視点から見られるような工夫がしてあります。

それぞれの者にこのような特徴があり、歴史的分野においても大いに活用する

ことができると考えております。

また、公民的分野ですが、東書の9ページから12ページにかけて、現代的な諸課題として、写真、地図、グラフなどが示されています。一方、帝国は、13、14ページに、同じように現代的な課題である世界の環境問題が示されています。

また、例えば現在、世の中で起こっていることで言いますと、香港の場所がどこなのかと地図帳を使って調べるなど、公民的分野でも使っていくことができると考えています。

船尾委員 よく分かりました。ありがとうございました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

佐々木委員 観点3「内容の構成・配列・分量」の説明の中で、防災教育について記載してあるとありましたが、実際の授業では、地図帳を活用して、どのように防災教育をされているのでしょうか。

藤原校長 2年前の西日本豪雨のこともあり、今回の教科書採択におきまして、防災教育の視点・方法について提案し、了承をいただきました。これを調査・研究委員会で説明し、調査・研究をしてもらいました。呉市としては、大きな視点になっていると私は思っています。

では、どのように授業で防災教育を学習していくのかですが、帝国88ページを御覧ください。12番のところに、島原半島の模式図がございます。雲仙普賢岳の火砕流の模式図が示してありますが、このように帝国は、「防災」マークというのが付けられていて、「地図活用」というコーナーもあり、使い勝手が良いと考えています。

日本の地域を学習していく際にも、帝国は、事例が豊富に示されています。火山に関しては富士山のことが載っております。さらに、阪神大震災や東日本大震災のことも載っております。中部地方では木曾三川の水害のことが、北海道では雪害のことも載っております。このように、地方ごとに特徴のある自然災害のことを、地図帳に「防災」マークを付けて載せており、それぞれの地域の学習をしていくとき、この地図帳を活用できると考えています。

また、ハザードマップについても示されていますので、ハザードマップ作り等の学習展開も考えることができると考えております。

佐々木委員 説明をお聞きしまして、確かに、帝国の方が具体例が多く、豊富で、活用のしやすさが違うと思います。

意見ですが、今年度から「呉市学校防災週間」として、呉市では防災の認識を児童生徒に確認させ、しっかりと備えてもらいたいという教育をしていますが、今の話を聞いて、教科書の地図を見て、その地区に合わせた防災の理解が深められるという認識をしましたので、十分な活用をお願いしたいと思います。

教育長 御意見ということで、分かりました。

ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りいたします。

ここまでの協議を踏まえると、地図については、帝国書院の教科用図書を採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、地図については、帝国書院の教科用図書を採択することに決定されました。

これより休憩に入ります。

午後1時50分から再開します。

(休憩)

教 育 長 それでは、再開します。

数学について、選定委員からの説明をお願いします。

久 保 校 長 数学の総合所見一覧について報告を行います。資料は7ページです。数学は、東書、大日本、学図、教出、啓林館、数研、日文の7者から発行されています。本日は、特徴のよく分かる三つの観点について説明します。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせていくためには、生徒の関心・意欲を高め、学びの目的を明確にさせることが必要です。そのためには、新しい章に入る際の導入場面が重要になりますので、各者において、様々な工夫が見られます。

東書は、章の導入ページに、その章を通して生徒に身に付けさせたい力をタイトルと文章で示してあります。また、大日本と日文も、その章の学習内容や学習目標が文章で示されています。これらの工夫により、生徒は、新しい学習を始めるに当たり、その章で何を学んでいくのか、何のために学ぶのかが明確になります。このことが基礎的・基本的な知識・技能の定着につながっていくと考えます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

生徒に、主体的に学習に取り組むことができるようにするためには、まず、どのような流れで学ばれば良いのか、その基本的な方法を身に付けさせることが必要です。すなわち「学び方を学ばせる」ということが大切になります。

ほとんどの者が、巻頭に、特設のページを設け、生徒が自ら問題解決を進めていくときの学習の流れを、図や矢印等を使って、分かりやすく示しています。中でも、東書、大日本、学図、教出、啓林館は、巻頭に記載するとともに、本文中にも様々な方法で記載しています。特に東書は、本文中にも随所に巻頭で示した流れに基づいて、具体的な問題を解決していく特設のページを設けていることにより、生徒が1年間を通して、学習の流れを意識しながら、主体的に問題解決に取り組めるように工夫をしています。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

この観点では、ノートやレポートの書き方の扱いについて報告します。どの者も、巻頭や巻末を中心に特設ページを設け、例を挙げながら具体的に示しています。中でも、東書と教出は、自分の考えや良いと思った友達の考えをまとめながら、更に深めたいことを書く習慣付けができるようにしています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、数学の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

小 谷 委 員 先ほどの説明の中で、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」の説明の中で、「学び方を学ばせる。」と説明されたことが、印象に残りました。その部分について、もう少し教えていただけますか。

久 保 校 長 主体的な学びの実現に向けて、生徒に学び方をしっかり身に付けさせることが重要だろうということで、先ほどのような表現をしました。

 一番特徴のある東書の第1学年の6，7ページをお開きください。「大切にしたい数学の学び方」というタイトルの付いた見開きページ、左側にある青い縦のラインのところに流れが示してあります。

 まず、「問題をつかむ」それから「見通しをたてる」。数学は積み重ねが大事な教科ですから、既習事項を使いながら調べていくことがよくあります。生徒は、これまでに学んだことをしっかり思い出しながら、自分の経験を踏まえて見通しを持っていきます。その後、「問題を解決する」という段階に進みますが、ここでは、自分の考えをしっかり持つことが大事になります。その後、7ページに進み、いわゆるグループ学習という段階です。友達の考えをお互いに交流する場面を持ちます。そこで自分の持った考えと、友達の考えを比べることによって、新しいことに気付いたり、自分の考えを見直したり深めたりしていきます。そのようなことをお互いしながら解決へと導いていきます。そして、解決後に「ふり返る」という段階に進みます。解決の過程では「これが大事だったよね。」と振り返りながら学んだことを整理します。大事なことはここで終わらず、「深める」という段階に進むことです。一番下の二人がこんな話をしています。「問題の条件を変えると、どうなるかな。」「身のまわりの問題にも使えないかな。」このように、今日の問題はこれで解決したけれども、さらに次の課題へとつなげていく。これが数学の学び方の流れになります。この流れを生徒にしっかり身に付けさせることが大事なことだと考えています。

 そして、東書の特徴的なことは、この流れに基づいた具体的な問題を、本文の随所に載せています。例えば10，11ページをお開きください。「九九表のきまりを見つけよう」という具体的な課題に対して、今の流れに基づいて学習を進めていくことを促すようなページが設けられています。

 続いて、55ページをお開きください。「身長を平均をくふうして求めてみよう」という具体的な課題に対して、正に先ほどの流れに基づいた進め方で、56ページにかけて課題を解決していく、深めていく。このように具体的な問題に取り組むようなページが準備されています。1年を通してこの流れを生徒にしっかり身に付けさせることが東書の特徴です。

小 谷 委 員 とてもよく分かりました。今の説明を聞いて、「学び方を学ばせる。」ということは観点5で説明されたノートに自分の考えをまとめさせることにもつながってくる、とても大切なポイントだと思います。

 生徒が主体的に学習する指導を丁寧に行っていくことは、これからも大切にしていってほしいと思います。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

船 尾 委 員 数学科の目標の(2)の中にある「論理的に考察する力」や「統合的・発展的に考

察する力」などは、新しい学習指導要領を受けてのものだと思いますが、今回の改訂を受けて変わった点等があれば教えてください。

久保校長 目標が三つ掲げられていますが、(1)と(3)は現在の目標を、多少文言を整理しながら受け継いでいるのもので、(2)は今回の改訂に合わせて新しく加わったものです。この目標に準ずる形で、今までは中学校の3年間では扱っていなかった内容が、今回の改訂で新しく中学校の学習内容に加わったものがありますので、それを紹介することで今の御質問の答えということにさせていただきたいと思います。

「箱ひげ図」というのですが、これは第2学年で学習します。東書の第2学年の178ページをお開きください。その左下辺りに「箱ひげ図」という言葉があります。実際に長方形の箱のようなものを描いて、そこからひげが伸びるような図が完成されますのでそのような名前が付いているのですが、これが今回の改訂で新しく中学校の学習内容に加わりました。この「箱ひげ図」を描く目的が179ページの1番下にある、「複数のデータの分布を一度に比較できる表し方はないでしょうか。」に当たります。

今からの情報化社会、生徒が今から生きていく社会では、自分が欲しい情報を一つだけ集めて分析するのではなく、多く集めて、時にはその中に必要なものを更に選択して、「これとこれを比較してみよう。」とか、「このデータとこのデータを組み合わせてみよう。」など、いろいろなことをしながら分析し、そこから見えるものを整理して判断していく力が必要になることから、先ほどの目標に合わせて、このような学習内容が今回加わりました。このページは、コンビニの店長という想定で、平日、休日、開花日の前後、開花日にはちょっと遠い日といろいろなパターンで、どんな日にどんな商品がよく売れるのかが違うことから、過去5年間のデータを収集した後、分析し、「だから、今年はどんな日にどんな商品を仕入れておこう。」ということを決めるようなページになっています。

船尾委員 分かりやすい題材例を挙げていただいて内容が理解できましたし、今言われたように情報化社会を見据えて、生徒に付けさせたい力が理解できました。もう1点だけ良いですか。観点4に、URLやQRコードを使用したデジタルコンテンツとありますが、数学ではどのような使われ方で、内容はどのようなものなのか教えていただけますか。

久保校長 このデジタルコンテンツは、正に今の時代の旬で、全者に扱いがありました。

使い方については、授業の中でも使えますし、予習・復習という家庭学習にも使えると思っています。近い将来、一人1台タブレットが導入されると聞いていますので、授業の中で使えると思っています。

内容としては、「デジタルだから」「動画だから」「自分で操作できるから」効果的であると、特に印象に残った点を2点紹介します。

1点目は、画面を見ることによって学習の理解が深まる点です。例えば図形のデジタルコンテンツは図形が動きます。点Pに指を当てて動かすと、その指の動きに合わせて点Pが動く、あるいは三角形が動く、回転する。図形が動くということが問題によく出てきますが、それを実際に自分の手で操作することによって問題の理解が深まると思います。

もう1点は、教材に対しての興味・関心が高まる点です。例えばサイコロを転

がすという問題があります。今まではサイコロの実物を生徒に渡して実際に転がすという実験をよくやっていたのですが、画面ですと、あっという間に100回、200回、1,000回、2,000回サイコロを転がせます。例えば、1の目が出る確率はどうかというものを調べていくと、回数が増えれば増えるほど、1の目が出る割合が6分の1に近づいていくことが分かります。確率というものはこういうものかということが理解でき、それからの確率の学習への興味が湧く、そんな使い方ができると思いました。

船尾委員 一方的な動画・コンテンツだけでなく、インタラクティブというか体験的なことができるようなコンテンツがあるということで、今後、これがどんどん発展していったら家庭学習やいろんなところにも活用できるようになっていけば良いと思いますので、現場での使い方等を研究してもらえればと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。
(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、数学については東京書籍の教科用図書を採択することに御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで数学については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、理科について、選定委員からの説明をお願いします。

柿林校長 理科の総合所見一覧について報告を行います。資料は8ページです。理科は、東書、大日本、学図、教出、啓林館の5者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。
一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

基礎的・基本的な知識・技能を身に付けさせるためには、生徒の問題意識を高めるとともに、見通しを持って学習させることが必要です。そのため、単元導入の場面が重要であり、各者において、単元の導入に工夫が見られます。中でも、東書、学図、啓林館は、学習内容に関する写真とともに生徒への「問い」を示しています。この「問い」には、単元の学習前と学習後で答えるよう示されているため、生徒は、学習のゴールを具体的にイメージし、見通しを持って学習に取り組むことができます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

新学習指導要領では、資質・能力を育成する学びの過程の例として、探究の過程のイメージが示され、これを重視した学習活動を行うことが求められています。このことを受け、各者とも探究の過程の示し方を工夫しています。中でも、東書では、ページ下部に「問題発見」等のキーワードを色付きで配列し、当該ページが探究の過程のどの部分を扱っているかを強調しています。また、大日本は、「問題を見つけよう」などのマークの色を変え、その学年でどの探究の過程に重点を置くのかを強調しています。啓林館は、巻末に「探Qシート」という付録を設け、生徒が探究の過程に沿って思考しやすくなる工夫をしています。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

どの者も、話合いの仕方を紹介したり、レポートの作成方法について説明した

りしています。中でも、東書は、レポート作成の説明が詳細です。各学年の学習内容をテーマにした具体例の中で、全学年共通の説明に加え、その学年ならではの補足説明も設けています。これらの具体例を活用することで、生徒はどのようなポイントに気を付けてレポートを作成すれば良いかが明確になり、科学的な概念を使用して考えたり説明したりする言語活動の助けになります。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、理科の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

（しばらく時間をとる）

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

佐々木委員 先ほど、基本的なことを押さえるためには、生徒の問題意識を高めることや、見通しを持って学習させることが必要だという説明がありました。生徒の問題意識を高めるには、漫然と学習するよりも、疑問を持って学ぶという方が、身に付きやすいのはよく分かります。もう一つの「見通しを持って学習させる」ということについて、具体的に教えてください。

柿 林 校 長 それでは、教科書を使って具体的に説明させていただきます。啓林館の第1学年、65ページを御覧ください。65ページの右側の真ん中辺りに「学ぶ前にトライ。」というコーナーがあり、「大地とわたしたちのかかわりは」という問い掛けがあります。生徒は単元の学習の前に、こうした問い掛けについて考えることで、この単元でこれからどのように学習していくのか、単元のゴールイメージを持つことができます。そのすぐ下に、「学んだ後にリトライ」というコーナーがあり、先ほどの問い掛けについてももう一度考えるように促しています。同様の工夫は、学図にも見られます。次に、東書の第1学年、199ページを御覧ください。こちらには、「Before & After」というコーナーに、「火山とはどのような山だろうか。私たちにどのような影響を与えているだろうか。」という問い掛けがあります。そして、212ページの右下に「Before & After」というコーナーがあり、先ほどと同じ問い掛けがもう一度出てきます。東書では、2回目の問い掛けを単元終了後のページに配置しており、生徒が自然に単元の中で学習した知識・技能を振り返るようになります。こうして「見通しを持つ」「振り返る」という行動によって、基本を押さえる、つまり基礎・基本の定着が図りやすいと考えます。

佐々木委員 よく分かりました。東書は今のお話と総合所見を見ていきますと、やはりゴールイメージを持たせて、学習後に振り返りをすることで定着させやすいという教科書だと私も感じました。

小 谷 委 員 先ほどの説明の中で、レポートの作成方法について述べられていました。どの出版者もレポートの作成を扱っていると思いますが、理科の授業でレポートを書かせるというのは、生徒にどのような力を付けさせるためなのでしょう。

柿 林 校 長 一言で言えば、思考力、判断力、表現力等を身に付けるために、レポートを書くということになります。

中学校学習指導要領の理科の解説編では、思考力、判断力、表現力等を育成するために、生徒が科学的な概念を使用して考えたり説明したりするという学習活動の充実が求められています。その学習活動の例として、レポートの作成、発

表、討論等が例として挙げられています。しかし、理科では、観察、実験がとても多いですから、生徒に「レポートにまとめましょう。」と、教員が指示しただけでは、生徒は何をどのように書けば良いか分からず、書くことに躊躇したり、教科書の記述をそのまま写したりということで終わったりすることがあります。

したがって、3年間を通して、レポートの作成についてしっかり教える必要があります。こちらについては、東書にとっても良い特徴が見られます。

東書の第1学年と、第3学年を見ていただきたいと思います。東書の第1学年は79ページ、東書の第3学年は14ページ、こちら二つを開いていただきたいと思います。ここにありますように、レポートの書き方が具体例とともに示されています。東書では、全学年共通の説明に加え、その学年ならではの補足説明があります。例えば、第1学年の79ページの一番下、「5考察」のところに、赤い字で説明があります。「実験を通じて、疑問やさらに追究してみたいことを書いてもよい。」と書いてありますが、第3学年の14ページの下、「5考察」には、「いくつかの考察をまとめて、明らかになったことを結論として書いてもよい。実験を通じて、疑問や更に追究してみたいことを書いてもよい。」という説明が追加されています。これは、実験の内容が複雑化し、一つの実験から様々なことが分かるようになる第3学年のレポートだからこそ必要な説明になっております。

このような説明によって、生徒は発達段階に応じて、適切なレポートを作成しやすくなると考えます。

小 谷 委 員 よく分かりました。東書が一番深く丁寧に扱っているということなのですね。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、理科については、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、理科については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、音楽（一般）について、選定委員からの説明をお願いします。

小 林 校 長 それでは、音楽（一般）の総合所見の一覧について報告を行います。資料は9ページです。音楽は、教出、教芸の2者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明をいたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

学習目標達成のための支援をどのように示しているかということ、教科書を見ていただきながら説明します。教出の音楽2・3の上の34ページと、教芸の音楽2・3の上の44ページをお開きください。

教出は、鑑賞領域となるこのページの教材名「交響曲第5番ハ短調作品67」の下に3行ほどあるように、目標達成のための文章を示しています。教芸は、教材名の下に「動機の繰り返しや変化に注目しながら、音楽の良さや美しさを味わって聴きましょう。」であるとか、「オーケストラの豊かな響きを感じ取りながら聴きましょう。」と、生徒に何に注目して学習を進めるのかを簡潔に、分かりやすく活動文として掲載しているという工夫があります。

二つ目、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

「歌唱分野」に関する学習過程等の示し方について、教出は、歌唱の冒頭の「学びのユニット」に、「ACTIVE！（すすんで学び合おう）」のページを配置し、気付いたことを書かせたり交流させたりしながら、表現を工夫するという学習過程を経験させ、他の題材でも活用できるように工夫されています。教芸は、「深めよう。音楽」で、学習の各段階で考えることを、キャラクター等の吹き出しで具体的な例を示しながら、歌唱表現を工夫していくことができるようになっています。

三つ目、観点5「言語活動の充実」についてです。

教出の音楽2・3の上、19ページと教芸の音楽2・3の上、23ページ、加えて教芸の音楽1の47ページをお開きください。

教出は、19ページの真ん中辺りにある「話し合おう」という吹き出しで、考える視点や話し合う視点を明確に示したり、自分の考えや気付きを書いたりできるようになっており、言語活動を充実させるための工夫があります。教芸は、音楽1の47ページのように、ワークシートにある左側の、旋律の特徴や楽器の音色、強弱といった、音楽から聴き取ったことや、右側の感じ取ったことを書き入れるワークシートや、音楽2・3の上にも、どのように歌いたいかという自分の考えを書き入れて、整理できるワークシートがあります。また、音楽1の47ページのようなキャラクターの吹き出しで〔共通事項〕に着目して、楽曲の良さを交流するやり取りを示すことで、生徒が思いや意図を明確にして言語活動を進める場を設定しているという工夫があります。

以上述べましたとおり、教芸に良い特徴が多いと考えます。

以上で、音楽（一般）の説明を終わります。

教 育 長 それでは、教科書を使って説明を受けましたので、見本本を見る時間を取らず、御質問、御意見ということにしてもよろしいですか。

（異議なしの声）

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

佐々木委員 音楽というのは深いものだと改めて思いました。第1回の選定委員会では、〔共通事項〕の学習で重要となる、強弱やリズムなどの音楽を形づくっている要素について話がありましたが、実際に調査してみて、どのような記載の工夫がありましたか。

小 林 校 長 それでは、まず教出の音楽1の4ページを御覧ください。色が綺麗で丸が多くあるページです。ここにありますように、「学びのユニット」として、学習する楽曲の周りを音楽を形づくっている要素を円にして囲んでいます。各ユニットで、重点的に扱う要素が濃い色で表されています。次の6ページをお開きください。ここには「青空へのぼろう」という楽曲があります。そこには左端のチェックがついたところに、「強弱や音域に応じた歌い方を工夫しよう。」というように、縦書きで、要素に関わる学びのポイントを示しています。

教芸の教科書、音楽1の26ページをお開きください。教芸は、先ほどの教出のような学びのユニットのようなものはありませんが、楽曲ごとに、ページの左端に縦書きで学習目標があり、その下にランプのマークがあり、「リズム」「旋

律」「強弱」「形式」と要素を示して着目させるようにしています。また、「浜辺の歌」の楽曲名の下には、「旋律の特徴や強弱の変化に」や、「8分の6拍子にのって」というようにもっと具体的に書かれてあります。生徒たちがこれらをしっかり読みながら、この曲はどのようなことを意識しながら学んでいくのか、意識できるようになっています。また、教芸の67ページにあるように、1年間で学習した要素の振り返りをする場として、要素ごとにどのページと教材とが関連しているのか、学年ごとにしっかりと振り返りをさせていくという工夫があります。

佐々木委員 説明によって、より深く分かりました。教芸のように、楽曲ごとに、要素が書き出してあるのは、生徒は意識しやすく、また見て理解しやすいのだらうと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

小谷委員 感想なのですが、説明の中で、観点5の「言語活動の充実」についてありましたが、音楽科の言語活動はどんなものかと思っていましたが、旋律や音色、強弱といった音楽を形づくっている要素を視点として考えをまとめたり、話し合ったりするという鑑賞や、実際に歌うことを通して学習をするというのがとてもイメージできました。

ワークシートやキャラクターの吹き出しが、活動の手立てとなるということですね。その辺りが、教芸の教科書にあったワークシートのつくりが、要素に着目させるのではないかと思いますので、教芸が良いのではないかと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、音楽（一般）については、教育芸術社の教科用図書を採択することに、御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、音楽（一般）については教育芸術社の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、音楽（器楽合奏）について選定委員からの説明をお願いします。

小林校長 それでは、音楽（器楽合奏）の総合所見一覧について報告を行います。資料は10ページです。音楽（器楽合奏）は、教出、教芸の2者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

リコーダーの取扱い方をどのように示しているかということを、教科書を見ていただきながら説明したいので、教出の4ページと、教芸の16ページをお開きください。リコーダーが出てきます。教出は、最初のページに楽器名、楽器概説、演奏写真と演奏者から中学生へのメッセージ等を掲載し、「姿勢とかまえ方」では、アルト・リコーダーとソプラノ・リコーダーを構えた斜めから見た写真を各1枚掲載しています。写真の中には、「肩の力を抜いて背筋を伸ばそう」など、ポイントを文章で掲載しています。教芸は、16ページにあるように、楽器名、演奏写真、鑑賞曲2曲、そして、「楽器を知ろう」を掲載しています。18ページの

「姿勢と構え方」では、アルト・リコーダーを構えた正面と横向き写真を2枚掲載しており、写真の中に、「肩や腕の力を抜く。」など、ポイントを分かりやすく短い文で掲載しています。また、トーンホールの閉じ方のイラストや、マウスピースの咥え方の悪い例をイラスト2種類で掲載しており、生徒のつまずきを想定した内容の掲載があります。

二つ目、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

「箏の学習展開の工夫」について、教出は36ページになりますが、名称や構え方、基礎的な奏法を写真と説明書きで示し、39ページと40ページには練習曲1、2と、箏の曲「さくらさくら」そして箏での創作まで順を追って掲載し、箏曲の冒頭部分の演奏や、鑑賞にもつなげてあります。教芸は40ページになります。名称や構え方、基礎的な奏法を写真と説明書きで示し、箏の曲を3曲掲載しています。また、学習の最後には、49ページにあるように「My Melody」として手順を分かりやすく示した創作活動が設定されており、生徒が主体的に学習に取り組みやすい工夫があります。

三つ目は、観点4「内容の表現・表記」についてです。

教出は、60ページからの「合わせて演奏しよう」で、各教材名の下に音楽を形作っている要素に関連させて「学びのポイント」を示しています。教芸は、10ページの「アンサンブルセミナー」、My Melody」では、各教材の学習目標の下に重点的に扱う音楽を形づくっている要素を示しています。これは音楽（一般）と同様です。また、76ページ以降にある「アンサンブル」で扱う各教材名の横には、音楽を形づくっている要素に関わる着目点や工夫のポイントを分かりやすく示しています。

以上述べましたとおり、教芸に良い特徴が多いと考えます。

以上で、音楽（器楽合奏）の説明を終わります。

教 育 長 こちら、教科書を使って説明がありましたので、見本本を見る時間を取らず、御質問、御意見ということにしてもよろしいですか。

（異議なしの声）

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 先ほどのリコーダーの説明で、姿勢や構え方の写真等を見ながら説明していただき、違いがよく分かったのですが、ここでは、タンギングのことも出てきました。このタンギングの扱い方などは、教科書によって違いがありますか。

小 林 校 長 タンギングの部分は、教出6ページ、教芸19ページを御覧ください。

教出では、絵がありますが、口の中の様子を絵で示したり、発音を、to（ト）、tu（トゥ）、ti（ティ）というように、発音を表で示したりしたものがありません。

教芸も、説明や同じような絵もありますが、大きく違うのが、19ページの「吹いてみよう」です。このページの楽譜1、2、3がありますが、その楽譜の下の息を示した帯状の横線が示してあることです。横線の途中で黒く縦線が入っていると、「tu（トゥ）」とタンギングをしながら息を吐いていることがイメージしやすいです。23ページに「Q&A」がありますが、息の使い方によって、音の感じが変わるということも分かりやすくなります。このような工夫が教芸に

はあります。

船尾委員 今の説明を聞くと、教芸の教科書にあった、息の使い方の掲載は、イメージしやすく、とても分かりやすいと思いました。最初の全体の説明と、今のタンギングの説明等で、総合的にみて、教芸の教科用図書が良いのではないかと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。
(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、音楽（器楽合奏）については、教育芸術社の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。
(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、音楽（器楽合奏）については教育芸術社の教科用図書を採択することに決定されました。
これより休憩に入ります。
午後3時7分から再開します。
(休憩)

教育長 それでは再開します。
美術について、選定委員からの説明をお願いします。

野崎校長 美術の総合所見一覧について報告を行います。資料は11ページです。美術は、開隆堂、光村、日文の3者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

3者とも形や色彩、材料や用具の取扱い等に関する動画の二次元コードを掲載しています。その中でも光村は、二次元コードの横に動画の内容を示しています。また、第1学年で動画を豊富に掲載しており、基礎・基本の定着につながる工夫が見られます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

3者とも作品全体を見開きや折り曲げの大型図版で掲載し、作品の一部や全体を拡大したり、原寸大の図版で示したりしています。その中でも光村は、実際の作品の仕上がりに近づけたり、作者の表現の工夫を書き込んだりすることで、生徒が実感を伴って理解しやすいようにしています。光村の教科書第2・3学年の教科書36ページをお開きください。平安末期から鎌倉初期に描かれました絵巻物である「鳥獣人物戯画」の作品が紹介されています。右隣のページに原寸大として紹介されていますが、ページを指先で触れていただきますと、和紙のような風合いのある紙に印刷されていることが分かります。手に取った瞬間、生徒が感覚的に古典の作品としてイメージしやすいようにしています。

13ページをお開きください。レオナルド・ダ・ヴィンチの「最後の晩餐」の作品が紹介されています。手前のページはトレーシングペーパーという紙になっています。ダ・ヴィンチが遠近法を表現するために用いた透視図法を、生徒が物差しを使って、このページに直接描き込めるようになっています。生徒は、一点透視図法を描き込むという操作的な活動を通して、中央の人物に鑑賞者の視線を集め、空間を感じ取らせるという、作者の表現の工夫を、実感を伴って理解できる

ようにしています。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

3者とも、作者の言葉を掲載したり、対話を促したりする記述があります。その中でも光村は「発想を広げる」のページを設け、様々な発想法を示すとともに、言語活動を伴った例を複数示しています。具体的に他者との交流で見方、考え方を広げるために、どのような言語活動を使ったら良いかを例を紹介しており、授業で参考になると考えます。

以上述べましたとおり、光村に良い特徴が多いと考えます。

以上で、美術の説明を終わります。

教 育 長 それでは、説明では光村の例しかなかったので、少し時間をとりますので、ほかの教科用図書も少し御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

森 尾 委 員 観点4にあります「主体的に学習に取り組む工夫」について、表現及び鑑賞への興味・関心を高めるための工夫の具体例を教えてください。

野 崎 校 長 表現のところで比較してみたいと思いますので、第1学年「スケッチ」の題材で御説明します。開隆堂は10, 11ページ「見ることからの発見」光村は10, 11ページ「見つめ、感じ取り、描く」日文は12, 13ページ「見つめると見えてくるもの」を開いてください。

この題材は、どの者でも、中学校に入学した第1学年が初めて描くことになる題材として位置付けられています。

開隆堂、日文は「形や色彩、質感など」と造形的視点を示しております。光村は造形的視点に加えて、11ページにあるように、「触った感覚を描く」「思い出を重ねて描く」「美しいと思ったものを描く」「愛着のあるものを描く」を例に示し、日常生活の一コマの写真とともにモチーフの選び方を提示しています。12ページには制作途中の写真やポイントを示し、苦手な生徒にとっても具体的で分かりやすく主体的に取り組むことができるアプローチになっていると考えます。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

佐々木委員 観点5「言語活動の充実」では、実際にどのような例が示されていたのか教えてください。

野 崎 校 長 「言語活動の充実」についてお答えします。

どの者も対話を促す表現があります。

日文と光村が、生徒が自分で発想や構想を豊かにするために、特設のページで取り扱っています。

日文の教科書1の58ページでは、どうやって構想するのだろうと「発想・構想の手立て」のページになっています。

光村は、教科書2・3の76ページに「発想を広げる」とあります。3者のうち2者が直接載せています。日文は、マッピングやアイデアスケッチを紹介していますが、光村は、マッピングやアイデアスケッチに加えて、9マス法の活用を紹介しています。隣の77ページに、「話し合ってみ方や考え方を広げる」として、生徒が考えを整理するやり方だけでなく、生徒同士が話し合っ、見方・考え方

を広げることができるように、付箋を活用したやり方や、グループのメンバーを替えて話し合うとより深まるというやり方が具体的に示されています。美術が苦手な生徒も言語活動を通して他者と協力し合いながら、より良いアイデアを導き出したり、自分の見方や考え方を広げたりする手立てを理解することができ、言語活動の充実につながると考えます。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

佐々木委員 ただ今の説明と総合所見、それから前回傍聴させていただいた選定委員会からも考えてみますと、この光村が課題の対応量としての幅の広さというものを感じます。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

これまでの協議を踏まえると、美術については、光村図書の教科用図書を採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、美術については光村図書の教科用図書を採択することに決定しました。

続いて、保健体育について選定委員からの説明をお願いします。

工藤校長 それでは、保健体育の総合所見一覧について報告を行います。資料は12ページです。保健体育は、東書、大日本、大修館、学研の4者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

基礎・基本の定着に向けて、どの者も習得すべき基本用語を「キーワード」として示したり、巻末に解説を加えたりしており、生徒が学習内容の意味理解を深めることができるようになっていきます。特に、東書と学研は各章末のまとめにおいて、生徒が学習内容を実生活に生かすことができるような工夫がされています。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

どの者にも、課題解決に向けて主体的に学びに向かい、身に付けた知識や技能を活用できるような工夫があります。特に、東書は、Dマークコンテンツ内容一覧が示されており、学習を支援し、生徒が主体的に課題解決に取り組めるような工夫がされています。

三つ目は、観点5「言語活動の充実」についてです。

各者とも、言語活動の例として「ブレインストーミング」「ロールプレイング」などを取り上げ、掲載しています。中でも、東書、大修館、学研の3者は、その種類が豊富で、学習内容に応じて、生徒同士が対話しながら学びを深めることができるようになっており、生徒の主体的な説明や話し合いを促すことが期待できると考えます。

以上述べましたとおり、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、保健体育の説明を終わります。

教 育 長 それでは、少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 観点5「言語活動の充実」の中で、先ほどの説明にも東書と大修館には「ロールプレイング」とありましたが、これは、どのような場面で活用し、どのような効果が得られるのですか。

工 藤 校 長 ロールプレイングは役割演技法とも呼ばれます。例えば、保健分野「薬物乱用防止」の学習を行うときに、薬物の誘いを断るという場面を設定し、役割を分担します。学習したことを生かして台詞を考え演技します。断り方などの良かった点や改善点等について話し合いを行います。このような学習を繰り返すことで、現実の問題への思考力、判断力、対処能力が身に付くと考えられております。

船 尾 委 員 分かりました。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

森 尾 委 員 観点1「基礎・基本の定着」の「学習のまとめ」に確認の問題等が掲載してあります。ここには、実生活に生かす工夫がされているとありますが、どのようなことか教えてください。

工 藤 校 長 東京書籍の48ページ、学研の69ページをお開きください。ここには、章のまとめとして確認問題等があり、その最後に「日常生活に生かそう」「生活への活用」の欄を設け、実生活とつなげる工夫がされています。この2者は、このような形で各章末のまとめで掲載しています。保健の学習は、単に知識として身に付けるだけでなく、実際に、習得した知識を日常生活に生かしながら、生涯を通じて健康の保持増進や回復に主体的に取り組む態度を身に付けることが必要です。このような実生活につなげる工夫があり、基礎・基本の定着を図ることができると考えております。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

これまでの協議を踏まえると、保健体育については、東京書籍の教科用図書を採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、保健体育については東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、技術・家庭（技術分野）について選定委員からの説明をお願いします。

松 田 校 長 それでは、技術・家庭（技術分野）の総合所見一覧について報告を行います。資料は13ページです。技術分野は、東書、教図、開隆堂の3者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる二つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2の「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

生徒が主体的に学習に取り組むためには、技術の見方・考え方を生徒に意識させたり、学習の流れの見通しを持たせることが大切だと考えます。

技術の見方・考え方を意識させるために、3者とも、技術の見方・考え方を示していますが、特に、東書と開隆堂は、各内容の最初や振り返りだけでなく、ガ

イダンスにおいても、技術の見方・考え方を示しており、授業の中で、生徒に、技術の見方・考え方を繰り返し意識させる工夫がされています。

また、学習の流れの見通しを持たせることについては、どの者も問題解決の学習過程を示していますが、中でも開隆堂は、ガイダンスの中で、問題解決の前後の過程を含んだ流れを、漫画を用いて分かりやすく解説しています。さらに、全ての実習例においても、生徒に学習過程を具体的に意識させるために、流れが一目で分かるよう掲載されています。

二つ目は、観点4の「内容の表現・表記」についてです。

まず、各教科等の学習内容との関連についてですが、どの者も、マークを用いるとともに、どの教科と関連しているかが分かるように示しています。さらに、東書と開隆堂は、学年や単元概要も示しており、どの学習とつながっているのかが分かるため、生徒にとっては、教科と教科をつなげ、学びを深めることが期待できます。

次に、工具や道具類の説明についてですが、どの者も、説明とともに図中で矢印や囲みを使って動かす方向や拡大図等を示していますが、特に開隆堂は、矢印や囲みの部分には縁取りがあるなど、視覚的に目立つように工夫しています。中学校に入って、初めて技術分野を学習する生徒にとって、このような視覚的な工夫によって使い方がよく分かり、安心して使うことができると考えます。

以上述べましたように、開隆堂に良い特徴が多いと考えます。

以上で、技術・家庭（技術分野）の説明を終わります。

教 育 長 それでは、少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

佐々木委員 先ほどの説明の中で、「学習の流れを漫画で解説している」と言われましたが、技術における学習の流れとはどのような流れで、漫画で解説することは生徒にとってどのように有意義であるのか教えてください。

松 田 校 長 開隆堂の教科書の6、7ページを御覧ください。技術分野の学習の流れが、この2ページに示されています。上部に書かれている「1 知識や技能を身につける」「2 問題から課題を考え、ものを作ることで課題を解決する」「3 学習したことを社会に生かす」というのが、学習の流れとなります。その流れについて、①から⑥まで、更に詳しく、それぞれの内容を4コマ漫画で示しています。

技術は、中学校に入って初めて学習するので、学習の流れをガイダンスで学習します。このガイダンスは、入学してすぐに学習するものです。それぞれの流れをこのように漫画で具体的に示しているのは、生徒にとって、イメージをしやすいという意味で有意義であると考えます。

佐々木委員 学習の流れが、よく分かりました。総合所見の観点2を見ますと、東書には、「ガイダンスにおいて、生徒が理解しやすいよう漫画で示している」とあって、開隆堂には、「ガイダンスにおいて、学習過程を漫画で解説している」とありますが、東書と開隆堂に、どのような差があるのか教えてください。

松 田 校 長 東書の教科書の12・13ページを御覧ください。これについては、学習の流れではなく、技術の見方・考え方を含んだ最適化について漫画で示しています。学習

の流れにつきましては、東書の14・15ページを御覧ください。東書の学習の流れと開隆堂の学習の流れを比べると、先ほどの開隆堂の方が、漫画を使った具体例で示していて、生徒が学習の流れを意識しやすいとえます。

佐々木委員 よく分かりました。開隆堂の方が、生徒の学習のモチベーションが上がりやすいと感じました。

船尾委員 先ほどの説明の中で、工具や道具類の説明について、「開隆堂が視覚的に目立つ」と言われましたが、この中では、どの部分でそういう工夫をされているかを具体的に教えてください。

松田校長 開隆堂の78ページの右下の「ねじ回しの使い方」と東書の64ページの右上を比べてみてください。

木材をねじで留めるとき、下に押し付けながら回すことが必要です。生徒は、技術分野の学習を中学校に入って初めて学習します。押し付けることを知らない生徒が多くいます。その生徒たちが、一目瞭然で押し付けて回すという意味が分かるよう、矢印等の視覚的な工夫が開隆堂にはあります。

その他の工具や道具の使い方においても、開隆堂は、視覚的に分かりやすい工夫がされています。

船尾委員 今の説明の中で、教科書の写真と図を見て、よく分かりました。私も佐々木委員と同じように、開隆堂の方が、いろいろな面で分かりやすくイメージもしやすいと思いました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。
(なしの声)

教育長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

これまでの協議を踏まえると、技術・家庭（技術分野）については、開隆堂の教科用図書を採択することに御異議はございませんか。

(異議なしの声)

教育長 御異議なしということで、技術・家庭（技術分野）については、開隆堂の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、技術・家庭（家庭分野）について選定委員からの説明をお願いします。

湊校長 それでは、技術・家庭（家庭分野）の総合所見一覧について報告を行います。資料は14ページです。家庭分野は、東書、教図、開隆堂の3者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる二つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

どの者も、課題解決の流れや実践例を示し、生徒が自ら生活の課題を発見し、課題を解決していく学習の流れを示しています。中でも、東書は「選択 生活の課題と実践」で、生徒の実践のまとめ方のレポートなど、種類が豊富に掲載されており、生徒がレポートやポスターを作成する時にまとめ方のイメージを持ちやすく、主体的な学習につながるとえます。

二つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

どの者も、生徒の発達段階を考慮し、体験的な学習を取り入れながら、分かりやすく学びやすい流れとなるような「構成・配列・分量」の工夫が見られます。

中でも、東書は、加熱調理法として「いためる」「焼く」「ゆでる」「煮る」「蒸す」「レンジ」の6種類のマークを示すとともに、それに合わせて、多様な具体例が掲載されています。

例えば、「焼く」の実践例として豚肉のしょうが焼きや鮭のムニエルなど10品、「煮る」の実践例として肉じゃがや鯖の味噌煮など16品、「蒸す」の実践例として豚肉と野菜の重ね蒸しなどが3品掲載されています。そのほかにも、「いためる」「ゆでる」「レンジ」の実践例が掲載されています。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、技術・家庭（家庭分野）の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

（しばらく時間をとる）

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

森 尾 委 員 感想ですが、先ほどの説明の観点3のところ、「焼く」「煮る」などの調理方法の具体例が多様に掲載されているということですね。東書は6種類で、教図、開隆堂は3種類となっていて、その違いがよく分かりました。「食」は、生徒にとって、生きる上での基本ですし、大切なことだと思います。生徒の健全な食生活につながるように、教科書の調理の具体例をこれからも活用して欲しいと思います。

小 谷 委 員 先ほどの観点2のところ、主体的な学習を促すために、生徒の実践例が豊富に掲載されていると説明がありましたが、具体的にはどのような実践例が掲載されているのでしょうか。

湊 校 長 それでは、生徒の実践例が充実している東書で説明をします。東書の272ページを御覧ください。このページには、食生活についての生徒の実践例が二つ掲載されています。

一つ目は、右上にある「エコクッキングにチャレンジ」のレポートです。

これは、生徒が家庭でエコクッキングとしてドライカレーを作ったレポート例です。このレポートは、左側にある「課題の発見」から「次の課題」までの実践の流れに沿って作成されています。

二つ目は、左下にある「食育新聞」です。これは、家族の元気が出る朝食を考え、実践の流れに沿ってまとめたものです。

その他にも、東京書籍には、273から277ページまで、先ほど説明した「食生活」のほか、「衣生活」や「住生活」「消費生活と環境」に関わる生徒の実践例が豊富に掲載されています。

小 谷 委 員 ただ今の説明を聞いて、生徒の実践例が、生徒のやる気を起こさせることにつながると感じました。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

（なしの声）

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議はございませんか。

（異議なしの声）

教 育 長 御異議なしということで、技術・家庭（家庭分野）については、東京書籍の教科用図書を採択することに決定されました。

続いて、英語について選定委員からの説明をお願いします。

平 田 校 長 それでは、英語の総合所見一覧について報告を行います。資料は15ページです。英語科は、東書、開隆堂、三省堂、教出、光村、啓林館の6者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

振り返りは、その単元で生徒自身にどんな力が付いたのかを意識させ、それ以降の学習への意欲を持たせることにつながるもので、主体的な学習を促していく上で重要なポイントとなります。この点につきまして、東書と光村は、ただ振り返りのチェックポイントを示すのみではなく、単元の終わりごとに、まとめの活動も設定してあり、目標に沿って振り返ることができるように工夫がされています。

二つ目、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

各者とも第1学年の導入段階で、小学校外国語科を踏まえた言語活動が設定されています。その中でも東書と教出は、音声から文字へ段階的に復習できるように言語活動が設定されています。小学校の英語の学習というのは、音声、やり取りの活動が中心で、中学に入ると、文字が多くなってきます。十分な音のインプットをすることで、生徒がそこから文字を読んだり、書いたりすることへの抵抗を軽くしていくことが期待できます。そのような学習があったこの2者は、小・中の学習を円滑に接続するための工夫があると考えます。

三つ目、観点4「内容の表現・表記」についてです。

英語では、生徒に求められる英語力の目安として、学習到達目標を設定しています。この点について、各者とも、学習指導要領が示す目標に基づいて中学校3年間の学習到達目標を明記してありますが、東書は、各学年、目標を3段階に分けて示してあり、それらを通して学年末の学習到達目標につながる形で示しています。さらに、第1学年の教科書では、小学校の学習到達目標が示してあり、第2学年のもの、第3学年のものも示してあります。これまで学習してきたこととこれから学習することです。さらに、第3学年では中学校の第1学年、第2学年と、高等学校の学習到達目標も示しています。卒業した後、今度はこういうことを勉強するということも示すことで、小・中・高の英語学習のつながりを意識して学習できるように工夫してあると考えます。

以上述べましたように、東書に良い特徴が多いと考えます。

以上で、英語の説明を終わります。

教 育 長 少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。

(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 英語教育について思うことの一つとして、グローバル社会に対応するためには、基礎・基本となる技術的な力だけではなく、例えば、国際的な視点に立つことができる力や自国の文化を表現することができる力も大切になってくると思

ます。後者の自国の文化を表現することについて、今回の教科書の中で取り扱っているような部分がありますでしょうか。

平田校長 各者とも、日本の文化を表現することについて取り扱っております。神社であったり仏閣であったり、いろいろなものが掲載されています。

例として2者紹介します。

啓林館の第3学年90ページになります。左上に「Shichi-Go-San」とローマ字で書かれています。七五三について、ウェブで紹介している例を示した後、何か一つウェブに載せるつもりで自分でも日本の文化を紹介してみようという活動が仕込まれています。

それから、東書の第2学年、66ページには、「日本の習慣やマナーを伝えよう。」とあります。ここでは、誰に伝えるかを明確にしています。この男の子は日本に来ることで不安に思っていることがあり、テーブルマナーや、外国ではチップを払う習慣があるけれど日本ではどうなのだろうかなど、テーマごとに外国との比較の中で日本文化について伝えていこうという活動となっています。

このように各者とも様々な活動が仕込まれています。

船尾委員 分かりやすい説明、ありがとうございます。例を二つ挙げていただきましたが、各者とも取り扱っているということで理解しました。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

佐々木委員 今年度から、小学校でも英語学習が本格的に始まりました。観点3の説明でも「小・中の学習を円滑に接続するための工夫」とありましたけれども、小学校で学んだものが、中学校での学習に生かせるような工夫が何かあれば教えていただきたいと思います。

平田校長 先ほども申しましたように、音声から柔軟に入っていけるような工夫ということで、教出と東書に優れた点がありました。教出「One World」、東書「New Horizon」、どちらも第1学年です。ページはどちらも12ページになります。

まず、教出の「Hello, New Friends」ですが、一番最初に「Listen」と書いてあります。ヘッドフォンのマークが付いていますが、聞き取りから活動が始まって、音から入るように仕込まれています。

同じように東書ですが、「Enjoy Communication」でコミュニケーション活動があり、ヘッドフォンマークが右ページに付いています。「小」というスタンプのようなものが押してあるのが分かるでしょうか。小学校とのつながりを表す印です。東書の場合は、これを1学期の終わりに当たるUnit5まで、「小」というマークが付いています。Unit5まで、1学期の間、聞き取り活動やコミュニケーション活動、小学校で学んだことを入れて、それから中学校の学習をするというように工夫がされており、とても丁寧なつくりがされています。

佐々木委員 ありがとうございます。非常に分かりやすい説明だったと思います。呉市は、全国に先駆けて小中一貫教育に取り組んでおり、英語教育について、昨年、呉中央小学校で研究発表会がありました。私も参加させていただいて、非常に小・中の先生の連携が取れていて、それが市全体に広がっていけば素晴らしい成果になるかと思っています。この教科書を使って、そういう教育をされることを期待しております。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

小 谷 委 員 私たちは長い間英語を学んでいます、なかなか得意になれないことを経験しています。英語が苦手だという子どもたちもいると思います。ですので、観点5にあるように、自分の考えを英語で伝えるとありますけれど、これは生徒にとってとても難しいことではないかと思えます。それをできるようにするために、どんな工夫がありますか。

平 田 校 長 私は英語が好きでしたが、英語が苦手な生徒も多く見てきましたので、そういったことが教科書で配慮されていることは大切だと考えます。工夫の一例として、東書の第3学年、44ページをお開きください。Unit 3の単元のまとめとして、「守りたい日本の動物たち」とあります。これは絶滅の危機にある動物について英語で紹介してみようというまとめです。これをいきなり紹介してみようと言われたら、私たちでも難しいことです。このページでは、ステップ1、ステップ2、ステップ3と段階が踏まれています。まずステップ1では、日本語で、どういうテーマを扱うか自分で探してみよう、ステップ2では、英語で情報を整理しよう、さらにそれを英語で記事にするステップ3では、二つの例文が示されています。この単元で学んだ表現を使って、自分の思いを表現するというものです。必ず例が示されているので、苦手な子はそれを真似すれば書けるような配慮がされています。段階を踏みながら、例を示すという配慮がされており、各先生方の工夫も加えて、うまく活用していけば、良い指導ができると考えます。

小 谷 委 員 よく分かりました。ステップを踏んで学ぶという工夫をしているということがとても大切だと。それが東書はよくできていると思います。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。
(なしの声)

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。
ここまでの協議を踏まえると、英語については、東京書籍の教科用図書を採択することに、御異議ございませんか。
(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、英語については東京書籍の教科用図書を採択することに決定しました。
続いて、道徳について選定委員からの説明をお願いします。

石 原 校 長 それでは、道徳の総合所見一覧について報告を行います。資料は16ページです。道徳は、東書、教出、光村、日文、学研、廣あかつき、日科の7者から発行されています。本日は、調査・研究した結果、特徴のよく分かる三つの観点について説明いたします。

一つ目は、観点1「基礎・基本の定着」についてです。

道徳科の学び方等について、全者ともオリエンテーションのページを設けていますが、東書、教出、日文、学研、日科は、学習の流れとともに学習活動が示されています。中でも、東書は、学習の流れをショートストーリーで解説するとともに、「話し合いの手引き」を掲載しています。日文は、「道徳科での学び方」を三つのステップで示し、「学びをより深めるための手立て」を写真等で分かりやすく解説しています。

また、発問の工夫について、全者とも、教材文の後に、発問を掲載しています。中でも、東書、日文、学研は、主題に関わる発問又は教材の中心発問と自己を見つめる発問等に精選しており、指導者が本時のねらいを踏まえて、多様な学

習展開を仕組むことができると考えられます。

二つ目は、観点2「主体的に学習に取り組む工夫」についてです。

全者とも問題解決的な学習ができるよう、発問や手引きを掲載していますが、日文は、該当する教材にマークを付けるとともに「学習の進め方」のページを設け、問題解決的な学習展開を具体的に示しています。また、体験的な学習の工夫について、全者とも体験的な学習を促すページ又は教材を掲載しています。中でも、東書、教出、日文は、目次等にマークを付けて掲載することにより、生徒にとって体験的な学習の扱いであることが分かりやすく、生徒の主体的な学びを促す工夫となっています。

三つ目は、観点3「内容の構成・配列・分量」についてです。

7者のうち、日文、廣あかつきには、別冊ノートがありますが、日文の別冊は、教科書に準拠したワークシート形式になっているため、活用しやすいと考えます。

また、現代的な課題である「いじめの問題」について考えるために、全者が教材を掲載しています。中でも、東書、教出、光村、日文は、いじめを直接的に扱った教材や間接的に扱った教材、コラムなどの複数教材をユニット化、ひとまとまりに扱っており、特に日文は、年間を通じて「いじめの問題」を考える構成になっているため、効果的な指導ができると考えます。

以上述べましたとおり、日文に良い特徴が多いと考えます。

以上で、道徳の説明を終わります。

教 育 長 それでは、少し時間をとりますので、教科用図書の見本本を御覧ください。
(しばらく時間をとる)

教 育 長 それでは、ただ今の説明について、御質問、御意見がありましたらお願いいたします。

船 尾 委 員 先ほどの説明の中にもあった、いじめについてですが、今言われたように大変な問題だと思います。これだけ社会問題になっていますが、いじめの方法がインターネットを利用したものに変化しており、学校の中で発見しづらくなるなど、なかなか減少しない現状があると思います。

集団生活の一番の基本は家族であって、家庭の中にあると思いますし、子どもたちの心が不安定な原因の多くは家庭環境にあるのではないかと考えています。

そこで、道徳の教科書を使って、家庭を巻き込んだ道徳教育を行えるよう、一緒に取り組んでいけるような工夫が教科書の中にあれば良いと思うのですが、そのような工夫があれば教えていただきたいです。

石 原 校 長 全発行者のうち、東書、光村、日文、廣あかつきの裏表紙に「保護者の皆様へ」と題した道徳教育のねらいや各者が教科書に込めた願い等を記載しています。

例えば、廣あかつきの第1学年裏表紙を御覧ください。こちらに「保護者の皆様へ」とあります。一番最後の3行を読んでみます。「ご家庭においても、子供たちとともにこの教科書をご覧いただき、ともに考え、語り合うことなどを通して、子供たちの心の成長を支え、見守り、実感していただければ幸いです。」と書かれています。

東書、光村、日文、廣あかつきには、このような記載があります。家庭で子どもたちと一緒に考えたり話し合ったりすることを促す工夫もそれぞれしていると

考えています。

また、教出の巻末、1年生を御覧ください。青い部分があるかと思いますが、こちらに学習の振り返りを生徒が書くようになっていきます。そして、208ページに保護者記入欄を設けて、一緒に学習や振り返りをしながらの促しの工夫もあります。

その他、日科の第1学年の6ページを御覧ください。題は「生き方から学ぶ」です。こちらは「教科書の使い方」という題です。「教科書の使い方」を示しており、学校、地域・社会、家庭で心の成長を目指していくことを、写真や矢印等を用いて表す工夫があります。

このように、家庭も含め地域社会を巻き込んで取り組んでいきたいと思いますという記載があるものもあります。

船尾委員 書いてあるだけでなく、実践できるように取り組んでいければと思いますので、本日選定される教科書を使って、現場で取り組んでいけるようお願いしたいと思います。

教育長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

小谷委員 観点3のところ「別冊ノート」があるとありましたが、別冊ノートについてももう少し詳しく説明してください。

石原校長 「別冊ノート」がある日文と廣あかつきを比べながら説明させていただきます。

まず、廣あかつきの第1学年の別冊、1ページをお開きください。廣あかつきの別冊は、生徒の思考を深めたり自分自身の体験や学校生活を振り返らせたりするために活用できる資料を掲載し、1ページのように文章やイラスト、6ページのように詩を紹介したり、7ページのようにグラフやデータで示したりしています。また、26ページを御覧ください。26ページ以降は学習の記録を書き込むことができるページとなっております。そして、巻末には折込みで振り返りを書けるよう掲載しています。

次に、日文について説明します。第1学年の教科書と別冊の両方を御準備ください。教科書は10ページ、別冊ノートは2ページをお開きください。一つの教材に対し、別冊ノート1ページ分が対応しています。こちらの教材は「サッカーの漫画を描きたい」という教材名ですが、教科書では6ページから10ページまで「サッカーの漫画を描きたい」という教材になっています。ノートは1ページだけが対応しています。そして、教科書に記載されている二つの発問、10ページにもありますが、「考えてみよう」「自分にプラスワン」については、別冊ノート2ページにも項目の欄を設け、自分の考えを記入できるようになっています。ただし、ノートには発問がありません。指導者がどのような学習活動もできるような形をとっております。発問によって引っ張られることがないようという思いであると考えます。また、自分の考えを書く項目の欄を設けていますが、自分の考えだけではなく、友達の意見や話し合いをメモできる欄も設けています。このように、書く活動を通して、生徒の思考を広げたり深めたりすることができるように工夫しています。

道徳科が教科化されたことに伴って、道徳科においても評価をします。一つの教材に対して振り返りまでが1ページにまとめてあることで、1時間ごとの生徒の

学習の足跡が残り、生徒の学習状況を継続的に把握することができると思います。

小 谷 委 員 どちらのノートも学習を記録する欄がありますが、教材を通して何をどのように考えたのか、また、考えの変化を読み取ることができる方が、生徒の学習状況をより把握することができるのではないかと思います。

教 育 長 ほかに御質問、御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 それでは、御発言なしということでお諮りします。

ここまでの協議を踏まえると、道德につきましては、日本文教出版の教科用図書を採択することに御異議ございませんか。

(異議なしの声)

教 育 長 御異議なしということで、道德については、日本文教出版の教科用図書を採択することに決定されました。

それでは、以上で、令和3年度使用教科用図書（中学校）につきましては、全て採択が決定しました。

そのほか、委員さんから御意見はありませんか。

船 尾 委 員 本日の臨時会の公開について要望ですが、時間の掛かる議事録や手続が必要なものもあり、不可能な部分もあろうかと思いますが、今日までに準備のできているものや、すぐに公開できるものに関しては、可能な限り早めに公開した方が良いと思います。これまでの教育委員会会議においても、遅滞なく公開ということで実施してきておりますし、その方向で皆さんも周知していると思います。可能な限り早めに公開できる努力を行っていただきたいと思います。

教 育 長 ただ今の意見について、事務局から何かありますでしょうか。

安 部 課 長 いただいた意見を踏まえまして、掲載できるものから順に、できるだけ早く公開するように努めます。

教 育 長 できるだけ早くということですが、曜日の指定までは難しいと思いますので、来週中ということではよろしいですか。

安 部 課 長 はい。

教 育 長 ほかに、御意見はありませんか。

(なしの声)

教 育 長 それでは、以上で臨時会を閉会します。

(16:43)

上記のとおり，会議の次第を記載して，その相違ないことを証するため，ここに署名する。

(教育長 寺 本 有 伸)

(委 員 小 谷 眞喜子)

(委 員 森 尾 敬 介)

(令和2年8月21日臨時会)